

2 0 2 4 (令 和 6) 年 度 授 業 ア ン ケ ー ト 報 告 書

研究教育開発センター

目 次

I	授業アンケートについて	P 1
1	授業アンケートの目的	
2	授業アンケート実施概要	
3	授業アンケート設問項目	
II	2024（令和6）年度授業アンケート結果の総括について	P 4
1	学生のアンケート回答状況について	
2	学生の授業と担当教員に対する評価について	
3	学生の授業に対する学修到達の自己評価について	
4	授業をより良くするための学生からの意見・要望等（自由記述）について	
5	今後の授業改善のために	
III	前期授業アンケート結果の分析について	
1	前期のアンケート回答状況	P 6
2	学生の授業と担当教員に対する評価の結果及び分析	
(1)	各設問に対する5段階評価の平均	P 8
(2)	各設問に対する集計結果	P 17
3	学生の授業に対する学修到達の自己評価の集計及び分析	P 29
IV	後期授業アンケート結果の分析について	
1	後期のアンケート回答状況	P 31
2	学生の授業と担当教員に対する評価の結果及び分析	
(1)	各設問に対する5段階評価の平均	P 33
(2)	各設問に対する集計結果	P 43

3 授業をより良くするための学生からの意見・要望等（自由記述）の集計及び分析

(1) 「この授業の良かった点、続けて欲しい点は何ですか。」に対するアンケート

結果の集計・分析方法について P 5 5

(2) 専門科目におけるカテゴリごとの学科比較 P 5 6

(3) 各学科の専門科目の分析結果 P 5 7

(4) 共通教育科目の分析結果 P 8 3

(5) その他の科目の分析結果 P 8 8

(6) 「この授業で改善して欲しかった点、取り入れて欲しかった点は何ですか。」

に対するアンケート結果の集計・分析方法について P 9 2

(7) 専門科目におけるカテゴリごとの学科比較 P 9 3

(8) 各学科の専門科目の分析結果 P 9 4

(9) 共通教育科目の分析結果 P 1 1 8

(10) その他の科目の分析結果 P 1 2 2

I 授業アンケートについて

1 授業アンケートの目的

(1) 前期

- ①学生は受講している授業をどのように見ているかという観点からの情報収集と教員個々の授業改善やFD活動への活用。
- ②学生自身の受講している授業の学びの振り返り。

(2) 後期

- ①学生は受講している授業をどのように見ているかという観点からの情報収集と教員個々の授業改善やFD活動への活用。

2 授業アンケート実施概要

(1) 対象科目

2024（令和6）年度に開講している全授業科目（演習及び実習を除く）を対象に実施。

(2) 実施時期

- ①前期：2024（令和6）年7月8日（月）～8月9日（金）
- ②後期：2025（令和7）年1月13日（月）～2月7日（金）

(3) 実施方法

パソコン・スマートフォン等によるLCUでの回答。

(4) アンケート設問項目

- ①前期（詳細はP2参照）
 - ・この授業と担当教員に対する評価について
 - ・この授業に対するあなたの学修到達の自己評価について
- ②後期（詳細はP3参照）
 - ・この授業と担当教員に対する評価について
 - ・この授業の良かった点または改善を求める点について（自由記述）

(5) アンケート回答状況

- ①前期：34.0%（回答数8,493／対象科目数24,959）
- ②後期：37.3%（回答数9,040／対象科目数24,204）
- ③学年別・学科別の回答状況：詳細はP6（前期）、P31（後期）参照

(6) アンケート報告書の公開

大学ホームページの大学紹介の「大学情報公表」にて公開する。

3 授業アンケート設問項目

(1) 前期

問1

この授業と担当教員に対する評価について

1－① 授業全体の目標は明確でしたか。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

1－② 教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

1－③ 教員の説明は明瞭で聞き取りやすかったですか。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

1－④ 受講しやすい環境が保たれていましたか。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

1－⑤ 学びに対する意欲をかきたてられましたか。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

1－⑥ この授業を受講して満足しましたか。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

問2

この授業に対するあなたの学修到達の自己評価について

2－①

この授業のシラバスに記載されている「授業の到達目標」に対して、あなた自身の到達度はどれくらいだと思いますか。

1. 90%以上
2. 70%～90%未満
3. 50%～70%未満
4. 30%～50%未満
5. 30%未満

2－②

2－①で回答した到達度になった理由はどんなことだと考えますか。あなた自身の学修態度や教員の授業の進め方など、考えられる理由を、以下の記入例のように2－①で回答した到達度と共に記入してください。

※記入例：私が70%～90%未満と回答した理由は……………（1000文字以内）

(2) 後期

問 1

この授業と担当教員に対する評価について

1－① 教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

1－② 教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや音量）。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

1－③ 教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

1－④ 授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。

※教室の広さ、Wi-Fi 環境、冷暖房の調整など担当教員の指導以外の要因は除きます。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

1－⑤ 学びに対する意欲をかきたてられましたか。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

1－⑥ この授業の受講を他の人に勧めたいですか。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

問 2

今後、この授業をより良い授業とするために、みなさんからのアドバイスを入力してください。

2－①

この授業の良かった点、続けて欲しい点は何ですか。（1000 文字以内）

2－②

この授業で改善して欲しかった点、取り入れて欲しかった点は何ですか。

※具体的な理由や根拠を含めて記述(回答)してください。また、改善等につながらない内容、または誹謗中傷するような内容は控えてください。（1000 文字以内）

Ⅱ 2024（令和6）年度授業アンケート結果の総括について

1 学生のアンケート回答状況について

2024（令和6）年度学期末授業アンケートは前期までは従来の設問で実施し、後期から「学生による授業と担当教員に対する評価」と授業に対する「良かった点」と「改善を求める点」という授業改善を目的とした設問に見直し実施した。

前期までのアンケートは、授業と担当教員に対する評価について支障はなかったが、学生にシラバスを確認させながらの「授業の到達目標」に対する到達度を自己評価させる設問では回答しにくいことが原因で、2023（令和5）年度の学生の回答率は年間で46.9%という結果だった。このような状況から学生が回答しやすい設問に見直して実施するという事になった。

2024（令和6）年度の学生の回答率は、最終的に前期が51.9%、後期が55.3%という結果となった。見直しをして初めて実施した後期は、2023（令和5）年度の42.5%に比べ、12.8ポイント上昇という結果となり、見直しの効果が出たと考えられる。（P6及びP31参照）

2 学生の授業と担当教員に対する評価について

2024（令和6）年度後期からの見直しに伴い、「授業全体の目標の明確さを問う設問」を削除し、「教員の説明に対する学生の理解度を評価する設問」を新たに加え実施した。（P2及び3参照）

結果をみると、2023（令和5）年度もそうであったが、前期・後期とも①～⑥のいずれの設問も「そう思う」という最も高い評価をした学生が多かった。個別では教員の授業に対する準備について問う設問【準備の周到さ】が最も高い評価となっている。逆に最も低い評価は、学びに対する意欲をかきたてられたかを問う【学習意欲の喚起】となっている。これは学部別・学科別で比較しても概ね同じような傾向となっている。この結果は2023（令和5）年度も同様である。

なお、授業を総合的に評価する設問【総合満足度】（前期）、総合満足度の指標となる設問【授業の推奨度】（後期）についての評価はそれぞれ4.52、4.43であり、概ね学生は授業を高く評価していることが伺える。（P9及び34参照）

3 学生の授業に対する学修到達の自己評価について

2024（令和6）年度の前期までの設問（P2参照）で、今回の集計が最後となる。大学全体では授業の到達度が90%以上と自己評価した学生が42.5%で最も多く、次いで70%～90%未満と自己評価した学生が40.8%で、到達度70%以上と自己評価した学生は83.3%という結果となっている。2023（令和5）年度前期（81.7%）と比較すると、ほぼ同様の結果となっており、概ね学生は授業を理解していると考えられる。（P29参照）

4 授業をより良くするための学生からの意見・要望等（自由記述）について

2024（令和 6）年度後期から授業に対する「良かった点」と「改善を求める点」という設問に見直し実施した。（P 3 参照）

回答結果を「専門科目」、「共通教育科目」、「その他の科目」の 3 つの科目別にそれぞれ「良かった点」と「改善を求める点」を集計・分析し、その分析方法はグラウンデッド・セオリー・アプローチという手法を用いた。また、「専門科目」については、学科別に分析を行った。（P 5 6 照）

今回は上記の手法で集計・分析を行ったが、この方法が授業改善につながるのかを検討する必要がある。

5 今後の授業改善のために

2024（令和 6）年度後期に見直しを行った授業アンケートであるが、目的を授業改善とし、そのための設問を設定した。その効果でアンケートを回答する学生が増え、多くの「声」を取り入れる環境が整った。

これからは、この「声」に教員個人だけでなく、大学としても真摯に向き合い授業を企画・実践することが求められる。特に、全学で最も低い評価となっている、学びに対する意欲をかきたてられたかを問う【学習意欲の喚起】について、どのような授業改善（対応や工夫）をしていけば評価を高めることになるのか、このことが学生の学修成果そのものにもつながることを意識して考えていく必要がある。

以 上

Ⅲ 前期授業アンケート結果の分析について

1 前期のアンケート回答状況

1) 大学全体

学年	大学全体		
	回答者数	在学者数	回答率
1	592	689	85.9%
2	381	786	48.5%
3	354	691	51.2%
4	171	718	23.8%
大学全体	1,498	2,884	51.9%

学年	経済学部			福祉社会学部			国際文化学部			看護学部		
	回答者数	在学者数	回答率	回答者数	在学者数	回答率	回答者数	在学者数	回答率	回答者数	在学者数	回答率
1	269	339	79.4%	164	175	93.7%	87	102	85.3%	72	73	98.6%
2	154	334	46.1%	145	229	63.3%	74	143	51.7%	8	80	10.0%
3	164	348	47.1%	130	219	59.4%	60	124	48.4%	0	0	0.0%
4	55	350	15.7%	86	217	39.6%	30	151	19.9%	0	0	0.0%
学部全体	642	1,371	46.8%	525	840	62.5%	251	520	48.3%	80	153	52.3%

2) 学部別

a) 経済学部

学年	経済学科			経営学科		
	回答者数	在学者数	回答率	回答者数	在学者数	回答率
1	86	119	72.3%	183	220	83.2%
2	82	155	52.9%	72	179	40.2%
3	68	169	40.2%	96	179	53.6%
4	29	187	15.5%	26	163	16.0%
学科全体	265	630	42.1%	377	741	50.9%

b) 福祉社会学部

学年	社会福祉学科			児童学科		
	回答者数	在学者数	回答率	回答者数	在学者数	回答率
1	62	67	92.5%	102	108	94.4%
2	36	91	39.6%	109	138	79.0%
3	37	88	42.0%	93	131	71.0%
4	32	83	38.6%	54	134	40.3%
学科全体	167	329	50.8%	358	511	70.1%

c) 国際文化学部

学年	国際文化学科			音楽学科		
	回答者数	在学者数	回答率	回答者数	在学者数	回答率
1	79	92	85.9%	8	10	80.0%
2	63	127	49.6%	11	16	68.8%
3	48	106	45.3%	12	18	66.7%
4	28	134	20.9%	2	17	11.8%
学科全体	218	459	47.5%	33	61	54.1%

d) 看護学部

学年	看護学科		
	回答者数	在学者数	回答率
1	72	73	98.6%
2	8	80	10.0%
3	0	0	0.0%
4	0	0	0.0%
学科全体	80	153	52.3%

2 学生の授業と担当教員に対する評価の結果及び分析

(1) 各設問に対する 5 段階評価の平均

アンケート設問 1 の①～⑥について、5 段階評価の平均値を大学全体・学科別・学年別に表にまとめた。集計表内の平均値は、小数点第 3 位以下を四捨五入し、小数点第 2 位までとした。

5 段階評価の内容は、次のとおりである。

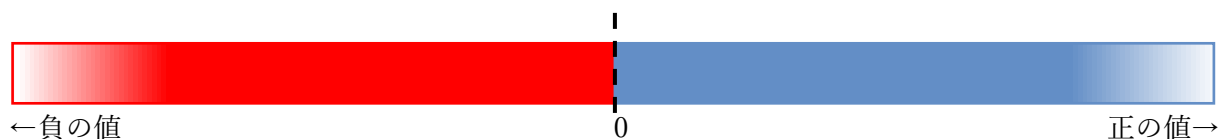
5：そう思う 4：どちらかといえばそう思う 3：どちらとも言えない
2：どちらかといえばそう思わない 1：そうは思わない

設問①～⑥は、次のように略記する。

①【目標の明確さ】 ②【準備の周到さ】 ③【明瞭な話し方】 ④【環境の整備】
⑤【学習意欲の喚起】 ⑥【総合満足度】

P 8～P 1 0 の表は平均値を示した。

また、P 1 1～P 1 3 の表は評価傾向を把握しやすいよう、大学全体の平均を基準に以下のデータバーを用いて表示した。



1) 5段階評価の平均値

a) 学科別

設問		①授業全体の目標は明確でしたか。	②教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	③教員の説明は明瞭で聞き取りやすかったですか。	④受講しやすい環境が保たれていましたか。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業を受講して満足しましたか。
大学全体		4.63	4.68	4.50	4.60	4.43	4.52
経済学部	経済学科	4.52	4.53	4.37	4.50	4.29	4.37
	経営学科	4.63	4.69	4.48	4.60	4.41	4.52
福祉社会学部	社会福祉学科	4.64	4.67	4.54	4.62	4.48	4.54
	児童学科	4.69	4.77	4.60	4.68	4.55	4.63
国際文化学部	国際文化学科	4.62	4.72	4.49	4.59	4.42	4.51
	音楽学科	4.46	4.52	4.38	4.47	4.27	4.33
看護学部	看護学科	4.75	4.78	4.58	4.69	4.52	4.61

b) 各学科の学年別

(ア) 経済学科

設問		①授業全体の目標は明確でしたか。	②教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	③教員の説明は明瞭で聞き取りやすかったですか。	④受講しやすい環境が保たれていましたか。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業を受講して満足しましたか。
学科全体		4.52	4.53	4.37	4.50	4.29	4.37
学年	1	4.62	4.64	4.43	4.58	4.35	4.46
	2	4.40	4.39	4.29	4.39	4.21	4.25
	3	4.49	4.50	4.33	4.50	4.28	4.36
	4	4.47	4.44	4.44	4.44	4.36	4.39

(イ)経営学科

設問		①授業全体の目標は明確でしたか。	②教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	③教員の説明は明瞭で聞き取りやすかったですか。	④受講しやすい環境が保たれていましたか。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業を受講して満足しましたか。
学科全体		4.63	4.69	4.48	4.60	4.41	4.52
学年	1	4.59	4.67	4.41	4.54	4.33	4.46
	2	4.65	4.70	4.53	4.64	4.44	4.54
	3	4.69	4.70	4.58	4.65	4.53	4.62
	4	4.70	4.81	4.64	4.78	4.60	4.64

(ウ)社会福祉学科

設問		①授業全体の目標は明確でしたか。	②教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	③教員の説明は明瞭で聞き取りやすかったですか。	④受講しやすい環境が保たれていましたか。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業を受講して満足しましたか。
学科全体		4.64	4.67	4.54	4.62	4.48	4.54
学年	1	4.72	4.79	4.60	4.68	4.54	4.62
	2	4.74	4.77	4.65	4.74	4.66	4.68
	3	4.53	4.46	4.42	4.50	4.28	4.35
	4	4.40	4.48	4.42	4.48	4.39	4.41

(エ)児童学科

設問		①授業全体の目標は明確でしたか。	②教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	③教員の説明は明瞭で聞き取りやすかったですか。	④受講しやすい環境が保たれていましたか。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業を受講して満足しましたか。
学科全体		4.69	4.77	4.60	4.68	4.55	4.63
学年	1	4.65	4.75	4.55	4.68	4.48	4.57
	2	4.70	4.80	4.62	4.66	4.55	4.64
	3	4.78	4.77	4.66	4.70	4.65	4.70
	4	4.77	4.78	4.70	4.74	4.69	4.74

(オ)国際文化学科

設問		①授業全体の目標は明確でしたか。	②教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	③教員の説明は明瞭で聞き取りやすかったですか。	④受講しやすい環境が保たれていましたか。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業を受講して満足しましたか。
学科全体		4.62	4.72	4.49	4.59	4.42	4.51
学年	1	4.70	4.81	4.58	4.64	4.45	4.57
	2	4.56	4.65	4.42	4.55	4.39	4.43
	3	4.48	4.62	4.37	4.55	4.34	4.41
	4	4.76	4.72	4.54	4.54	4.60	4.70

(カ)音楽学科

設問		①授業全体の目標は明確でしたか。	②教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	③教員の説明は明瞭で聞き取りやすかったですか。	④受講しやすい環境が保たれていましたか。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業を受講して満足しましたか。
学科全体		4.46	4.52	4.38	4.47	4.27	4.33
学年	1	4.33	4.35	4.18	4.45	4.20	4.18
	2	4.57	4.71	4.43	4.36	4.21	4.39
	3	4.43	4.51	4.51	4.46	4.22	4.38
	4	4.85	4.85	4.69	4.85	4.85	4.69

(キ)看護学科

設問		①授業全体の目標は明確でしたか。	②教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	③教員の説明は明瞭で聞き取りやすかったですか。	④受講しやすい環境が保たれていましたか。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業を受講して満足しましたか。
学科全体		4.75	4.78	4.58	4.69	4.52	4.61
学年	1	4.81	4.84	4.63	4.75	4.57	4.67
	2	4.41	4.43	4.23	4.27	4.16	4.24

2) 大学全体の平均値との乖離状況

a) 学科別

設問		①授業全体の目標は明確でしたか。	②教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	③教員の説明は明瞭で聞き取りやすかったですか。	④受講しやすい環境が保たれていましたか。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業を受講して満足しましたか。
経済学部	経済学科	-0.11	-0.15	-0.13	-0.10	-0.14	-0.15
	経営学科	0	0.01	-0.02	0	-0.02	0
福祉社会学部	社会福祉学科	0.01	-0.01	0.04	0.02	0.05	0.02
	児童学科	0.06	0.09	0.10	0.08	0.12	0.11
国際文化学部	国際文化学科	-0.01	0.04	-0.01	-0.01	-0.01	-0.01
	音楽学科	-0.17	-0.16	-0.12	-0.13	-0.16	-0.19
看護学部	看護学科	0.12	0.10	0.08	0.09	0.09	0.09

b) 各学科の学年別

(ア) 経済学科

設問		①授業全体の目標は明確でしたか。	②教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	③教員の説明は明瞭で聞き取りやすかったですか。	④受講しやすい環境が保たれていましたか。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業を受講して満足しましたか。
学年	1	0.10	0.11	0.06	0.08	0.06	0.09
	2	-0.12	-0.14	-0.08	-0.11	-0.08	-0.12
	3	-0.03	-0.03	-0.04	0	-0.01	-0.01
	4	-0.05	-0.09	0.07	-0.06	0.07	0.02

(イ)経営学科

設問		①授業全体の目標は明確でしたか。	②教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	③教員の説明は明瞭で聞き取りやすかったですか。	④受講しやすい環境が保たれていましたか。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業を受講して満足しましたか。
学年	1	-0.04	-0.02	-0.07	-0.06	-0.08	-0.06
	2	0.02	0.01	0.05	0.04	0.03	0.02
	3	0.06	0.01	0.10	0.05	0.12	0.10
	4	0.07	0.12	0.16	0.18	0.19	0.12

(ウ)社会福祉学科

設問		①授業全体の目標は明確でしたか。	②教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	③教員の説明は明瞭で聞き取りやすかったですか。	④受講しやすい環境が保たれていましたか。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業を受講して満足しましたか。
学年	1	0.08	0.12	0.06	0.06	0.06	0.08
	2	0.10	0.10	0.11	0.12	0.18	0.14
	3	-0.11	-0.21	-0.12	-0.12	-0.20	-0.19
	4	-0.24	-0.19	-0.12	-0.14	-0.09	-0.13

(エ)児童学科

設問		①授業全体の目標は明確でしたか。	②教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	③教員の説明は明瞭で聞き取りやすかったですか。	④受講しやすい環境が保たれていましたか。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業を受講して満足しましたか。
学年	1	-0.04	-0.02	-0.05	0	-0.07	-0.06
	2	0.01	0.03	0.02	-0.02	0	0.01
	3	0.09	0	0.06	0.02	0.10	0.07
	4	0.08	0.01	0.10	0.06	0.14	0.11

(オ)国際文化学科

設問		①授業全体の目標は明確でしたか。	②教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	③教員の説明は明瞭で聞き取りやすかったですか。	④受講しやすい環境が保たれていましたか。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業を受講して満足しましたか。
学年	1	0.08	0.09	0.09	0.05	0.03	0.06
	2	-0.06	-0.07	-0.07	-0.04	-0.03	-0.08
	3	-0.14	-0.10	-0.12	-0.04	-0.08	-0.10
	4	0.14	0	0.05	-0.05	0.18	0.19

(カ)音楽学科

設問		①授業全体の目標は明確でしたか。	②教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	③教員の説明は明瞭で聞き取りやすかったですか。	④受講しやすい環境が保たれていましたか。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業を受講して満足しましたか。
学年	1	-0.13	-0.17	-0.20	-0.02	-0.07	-0.15
	2	0.11	0.19	0.05	-0.11	-0.06	0.06
	3	-0.03	-0.01	0.13	-0.01	-0.05	0.05
	4	0.39	0.33	0.31	0.38	0.58	0.36

(キ)看護学科

設問		①授業全体の目標は明確でしたか。	②教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	③教員の説明は明瞭で聞き取りやすかったですか。	④受講しやすい環境が保たれていましたか。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業を受講して満足しましたか。
学年	1	0.06	0.06	0.05	0.06	0.05	0.06
	2	-0.34	-0.35	-0.35	-0.42	-0.36	-0.37

①大学全体

- ・大学全体では、授業を総合的に評価する設問⑥【総合満足度】の平均値は 4.52 であり、学生は概ね授業に満足しているといえる。令和 4 年度前期からの経年でみると 4.46、4.49、4.52 と上昇傾向にある。その他の設問の平均も 4.43 以上であることから、総じて学生が授業を高く評価していることがうかがえる。
- ・大学全体で最も高い評価となっているのは、教員の授業に対する準備について評価する設問②【準備の周到さ】の 4.68 であり、逆に最も低い評価は、学びに対する意欲をかきたてられたかを評価する設問⑤【学習意欲の喚起】の 4.43 である。この傾向は令和 4 年度前期から変化はない。
- ・令和 5 年度前期と比較すると、最も高い評価となっている設問②【準備の周到さ】以外の設問の評価は上昇しており、授業の満足度の底上げができています。

②経済学科

- ・全ての設問において大学全体の評価を下回っている。
- ・学科別に比較すると、音楽学科に次いで 2 番目に低い。特に、教員の説明の聞きやすさを評価する設問③【明瞭な話し方】の 4.37 は全学科で最も低い評価となっている。
- ・学年別で比較すると、全ての設問において 2 年生の評価が最も低い。この傾向は令和 5 年度前期と同様であるが、令和 5 年度前期から全ての設問において上昇している。また、全ての設問において 1 年生の評価は学科の平均を上回っている。
- ・令和 5 年度前期と比較すると、全ての設問において評価が上昇しており、授業満足度の底上げができています。

③経営学科

- ・全ての設問において大学全体の評価との差は 0.01～0.02 ポイント程度であり、最も大学全体の評価に近く、良好な評価となっている。
- ・学年別で比較すると、1～3 年生の評価に大きな差はない。4 年生は全ての設問において最も高い評価となっており、4 年生の授業への満足度が高いことがうかがえる。
- ・経済学科と比較すると、全ての設問において高い評価となっているが、設問⑤【学習意欲の喚起】が経済学科と同様に最も低い評価となっている。
- ・令和 5 年度前期と比較すると、全ての設問において評価が上昇しており、授業の満足度の底上げができています。

④社会福祉学科

- ・設問②【準備の周到さ】を除く全ての設問において大学全体の評価を上回り、良好な評価といえる。その設問②の評価も 0.01 ポイント低いのみである。
- ・学年別で比較すると、設問②【準備の周到さ】を除く設問において 2 年生の評価が最も高く、次いで 1 年生となっている。
- ・令和 5 年度前期と比較すると、設問②【準備の周到さ】と設問⑥【総合満足度】の評価が低くなっているが、どの設問も大きく低下している訳ではなく、高い評価を維持している。

⑤児童学科

- ・全ての設問において大学全体の評価を上回り、非常に良好な評価となっている。特に設問⑥【総合満足度】の4.63は大学全体で最も高い評価となっている。
- ・学年別で比較すると、1年生の評価が受講しやすい環境を評価する設問④【環境の整備】を除く設問において最も低くなっている。2年生からは学年が上がるごとに評価が高くなっている。
- ・令和5年度前期と比較すると、全ての設問において評価が低下しており、特に、設問⑤【学習意欲の喚起】が0.11ポイント低下している。とはいえ、全体的に高い評価を維持していることに変わりはない。

⑥国際文化学科

- ・全ての設問において大学全体の評価との差は0.01～0.04ポイント程度であり、経営学科に次いで大学全体の評価に近く、良好な評価となっている。
- ・学年別に比較すると、全ての設問において3年生の評価が最も低く、3年生の評価が最も高かった令和5年度前期と全く逆の状況となっている。1年生は全ての設問において評価が平均を上回っており、満足度が高いことがうかがえる。
- ・令和5年度前期と比較すると、授業全体の目標の明確さを評価する設問①【目標の明確さ】と設問⑤【学習意欲の喚起】を除く設問の評価が低下しているが、どの設問も大きく低下している訳ではなく、高い評価を維持している。

⑦音楽学科

- ・全ての設問において大学全体の評価を下回っている。
- ・学科別に比較すると、音楽学科が最も低い。特に、設問⑤【学習意欲の喚起】が全学科で最も低い評価となっている。
- ・学年別に比較すると、全ての設問において4年生の評価が高く、最低でも設問③【明瞭な話し方】と設問⑥【総合満足度】の4.69となっている。
- ・令和5年度前期と比較すると、全ての設問において評価が0.16ポイント以上低下している。特に、設問⑥【総合満足度】が0.24ポイントと大幅に低下している。

⑧看護学科

- ・全ての設問において大学全体の評価を上回り、非常に良好な評価となっている。特に設問②【準備の周到さ】の4.78は大学全体で最も高い評価となっている。
- ・学年別にみると、全ての設問において1年生の評価が高く、最低でも設問⑤【学習意欲の喚起】の4.57となっている。
- ・令和5年度前期と比較すると、全ての設問において評価が上昇している。特に、設問⑤【学習意欲の喚起】において0.28ポイントと大幅に上昇している。

(2) 各設問に対する集計結果

①授業全体の目標は明確でしたか。

1) 大学全体

回答	大学全体		経済学部		福祉社会学部		国際文化学部		看護学部	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	6,095	72.4%	2,566	69.1%	1,869	76.0%	1,068	70.7%	592	80.0%
どちらかと言えばそう思う	1,760	20.9%	856	23.0%	446	18.1%	344	22.8%	114	15.4%
どちらとも言えない	396	4.7%	211	5.7%	95	3.9%	56	3.7%	34	4.6%
どちらかと言えばそう思わない	108	1.3%	52	1.4%	26	1.1%	30	2.0%	0	0.0%
そう思わない	65	0.8%	31	0.8%	22	0.9%	12	0.8%	0	0.0%
合計	8,424		3,716		2,458		1,510		740	

2) 学部別

a) 経済学部

回答	学部全体		経済学科		経営学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	2,566	69.1%	1,040	66.4%	1,526	71.0%
どちらかと言えばそう思う	856	23.0%	358	22.8%	498	23.2%
どちらとも言えない	211	5.7%	128	8.2%	83	3.9%
どちらかと言えばそう思わない	52	1.4%	22	1.4%	30	1.4%
そう思わない	31	0.8%	19	1.2%	12	0.6%
合計	3,716		1,567		2,149	

b) 福祉社会学部

回答	学部全体		社会福祉学科		児童学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	1,869	76.0%	665	73.6%	1,204	77.5%
どちらかと言えばそう思う	446	18.1%	174	19.2%	272	17.5%
どちらとも言えない	95	3.9%	49	5.4%	46	3.0%
どちらかと言えばそう思わない	26	1.1%	8	0.9%	18	1.2%
そう思わない	22	0.9%	8	0.9%	14	0.9%
合計	2,458		904		1,554	

c) 国際文化学部

回答	学部全体		国際文化学科		音楽学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	1,068	70.7%	980	71.2%	88	66.2%
どちらかと言えばそう思う	344	22.8%	313	22.7%	31	23.3%
どちらとも言えない	56	3.7%	52	3.8%	4	3.0%
どちらかと言えばそう思わない	30	2.0%	23	1.7%	7	5.3%
そう思わない	12	0.8%	9	0.7%	3	2.3%
合計	1,510		1,377		133	

d) 看護学部

回答	学部全体		看護学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	592	80.0%	592	80.0%
どちらかと言えばそう思う	114	15.4%	114	15.4%
どちらとも言えない	34	4.6%	34	4.6%
どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%	0	0.0%
そう思わない	0	0.0%	0	0.0%
合計	740		740	

3) 集計データに関する分析

- ・大学全体では、「そう思う」（72.4%）の回答が最も多く、次いで「どちらかと言えばそう思う」（20.9%）の順となっている。両者を合わせると 93.3%で、全体の 90%以上を占めており、良好な評価となっている。
- ・大学全体の「そう思う」は令和 5 年度前期（70.3%）と比較すると、2.1 ポイント上昇している。特に経済学部が令和 5 年度前期（59.6%）から 9.5 ポイント上昇している。
- ・「そう思う」の回答を学部別で比較すると、看護学部（80.0%）が最も多く、国際文化学部（70.7%）が最も少なくなっている。
- ・「そう思う」の回答を学科別で比較すると、看護学科（80.0%）が最も多く、音楽学科（66.2%）が最も低い。

②教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。

1) 大学全体

回答	大学全体		経済学部		福祉社会学部		国際文化学部		看護学部	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	6,471	76.8%	2,700	72.7%	1,966	80.0%	1,183	78.3%	622	84.1%
どちらかと言えばそう思う	1,430	17.0%	733	19.7%	366	14.9%	250	16.6%	81	10.9%
どちらとも言えない	383	4.5%	205	5.5%	96	3.9%	50	3.3%	32	4.3%
どちらかと言えばそう思わない	81	1.0%	46	1.2%	18	0.7%	13	0.9%	4	0.5%
そう思わない	59	0.7%	32	0.9%	12	0.5%	14	0.9%	1	0.1%
合計	8,424		3,716		2,458		1,510		740	

2) 学部別

a) 経済学部

回答	学部全体		経済学科		経営学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	2,700	72.7%	1,065	68.0%	1,635	76.1%
どちらかと言えばそう思う	733	19.7%	326	20.8%	407	18.9%
どちらとも言えない	205	5.5%	129	8.2%	76	3.5%
どちらかと言えばそう思わない	46	1.2%	28	1.8%	18	0.8%
そう思わない	32	0.9%	19	1.2%	13	0.6%
合計	3,716		1,567		2,149	

b) 福祉社会学部

回答	学部全体		社会福祉学科		児童学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	1,966	80.0%	685	75.8%	1,281	82.4%
どちらかと言えばそう思う	366	14.9%	156	17.3%	210	13.5%
どちらとも言えない	96	3.9%	50	5.5%	46	3.0%
どちらかと言えばそう思わない	18	0.7%	8	0.9%	10	0.6%
そう思わない	12	0.5%	5	0.6%	7	0.5%
合計	2,458		904		1,554	

c) 国際文化学部

回答	学部全体		国際文化学科		音楽学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	1,183	78.3%	1,091	79.2%	92	69.2%
どちらかと言えばそう思う	250	16.6%	221	16.0%	29	21.8%
どちらとも言えない	50	3.3%	46	3.3%	4	3.0%
どちらかと言えばそう思わない	13	0.9%	8	0.6%	5	3.8%
そう思わない	14	0.9%	11	0.8%	3	2.3%
合計	1,510		1,377		133	

d) 看護学部

回答	学部全体		看護学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	622	84.1%	622	84.1%
どちらかと言えばそう思う	81	10.9%	81	10.9%
どちらとも言えない	32	4.3%	32	4.3%
どちらかと言えばそう思わない	4	0.5%	4	0.5%
そう思わない	1	0.1%	1	0.1%
合計	740		740	

3) 集計データに関する分析

- ・大学全体では、「そう思う」（76.8％）の回答が最も多く、次いで「どちらかと言えばそう思う」（17.0％）の順となっている。両者を合わせると 93.8％で、全体の 90％以上を占めており、良好な評価となっている。なお、6 つの設問においてこの項目の評価が最も高い。
- ・大学全体の「そう思う」は令和 5 年度前期（77.3％）と比較すると、0.5 ポイント低下しているが大きな変化はない。
- ・「そう思う」の回答を学部別で比較すると、看護学部（84.1％）が最も多く、経済学部（72.7％）が最も少なくなっている。
- ・「そう思う」の回答を学科別で比較すると、看護学科（84.1％）が最も多く、児童学科（82.4％）も 80％以上となっている。
- ・令和 5 年度前期と比較すると、経済学科、経営学科及び看護学科を除いて「そう思う」の回答が低下している。特に、音楽学科が令和 5 年度前期（83.6％）から 14.4 ポイントと大幅に低下している。

③教員の説明は明瞭で聞き取りやすかったですか。

1) 大学全体

回答	大学全体		経済学部		福祉社会学部		国際文化学部		看護学部	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	5,668	67.3%	2,375	63.9%	1,766	71.8%	993	65.8%	534	72.2%
どちらかと言えばそう思う	1,791	21.3%	861	23.2%	466	19.0%	341	22.6%	123	16.6%
どちらとも言えない	615	7.3%	295	7.9%	143	5.8%	114	7.5%	63	8.5%
どちらかと言えばそう思わない	181	2.1%	84	2.3%	47	1.9%	34	2.3%	16	2.2%
そう思わない	169	2.0%	101	2.7%	36	1.5%	28	1.9%	4	0.5%
合計	8,424		3,716		2,458		1,510		740	

2) 学部別

a) 経済学部

回答	学部全体		経済学科		経営学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	2,375	63.9%	954	60.9%	1,421	66.1%
どちらかと言えばそう思う	861	23.2%	364	23.2%	497	23.1%
どちらとも言えない	295	7.9%	166	10.6%	129	6.0%
どちらかと言えばそう思わない	84	2.3%	38	2.4%	46	2.1%
そう思わない	101	2.7%	45	2.9%	56	2.6%
合計	3,716		1,567		2,149	

b) 福祉社会学部

回答	学部全体		社会福祉学科		児童学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	1,766	71.8%	626	69.2%	1,140	73.4%
どちらかと言えばそう思う	466	19.0%	182	20.1%	284	18.3%
どちらとも言えない	143	5.8%	68	7.5%	75	4.8%
どちらかと言えばそう思わない	47	1.9%	15	1.7%	32	2.1%
そう思わない	36	1.5%	13	1.4%	23	1.5%
合計	2,458		904		1,554	

c) 国際文化学部

回答	学部全体		国際文化学科		音楽学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	993	65.8%	913	66.3%	80	60.2%
どちらかと言えばそう思う	341	22.6%	305	22.1%	36	27.1%
どちらとも言えない	114	7.5%	106	7.7%	8	6.0%
どちらかと言えばそう思わない	34	2.3%	29	2.1%	5	3.8%
そう思わない	28	1.9%	24	1.7%	4	3.0%
合計	1,510		1,377		133	

d) 看護学部

回答	学部全体		看護学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	534	72.2%	534	72.2%
どちらかと言えばそう思う	123	16.6%	123	16.6%
どちらとも言えない	63	8.5%	63	8.5%
どちらかと言えばそう思わない	16	2.2%	16	2.2%
そう思わない	4	0.5%	4	0.5%
合計	740		740	

3) 集計データに関する分析

- ・大学全体では、「そう思う」（67.3％）の回答が最も多く、次いで「どちらかと言えばそう思う」（21.3％）の順となっている。両者を合わせると 88.6％で、全体の 9 割近くを占めており、概ね良好な評価となっている。
- ・大学全体の「そう思う」は令和 5 年度前期（67.1％）と比較すると、0.2 ポイント上昇している。
- ・「そう思う」の回答を学部別で比較すると、看護学部（72.2％）が最も多く、経済学部（63.9％）が最も少なくなっている。
- ・「そう思う」の回答を学科別で比較すると、児童学科（73.4％）が最も多い。
- ・令和 5 年度前期と比較すると、経済学科、経営学科、社会福祉学科及び看護学科で「そう思う」の回答が上昇している。特に看護学科は令和 5 年度前期（58.5％）から 13.7 ポイントと大幅に上昇している。

④受講しやすい環境が保たれていましたか。

1) 大学全体

回答	大学全体		経済学部		福祉社会学部		国際文化学部		看護学部	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	6,076	72.1%	2,554	68.7%	1,874	76.2%	1,067	70.7%	581	78.5%
どちらかと言えばそう思う	1,648	19.6%	810	21.8%	416	16.9%	321	21.3%	101	13.6%
どちらとも言えない	487	5.8%	257	6.9%	113	4.6%	70	4.6%	47	6.4%
どちらかと言えばそう思わない	124	1.5%	54	1.5%	26	1.1%	37	2.5%	7	0.9%
そう思わない	89	1.1%	41	1.1%	29	1.2%	15	1.0%	4	0.5%
合計	8,424		3,716		2,458		1,510		740	

2) 学部別

a) 経済学部

回答	学部全体		経済学科		経営学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	2,554	68.7%	1,027	65.5%	1,527	71.1%
どちらかと言えばそう思う	810	21.8%	365	23.3%	445	20.7%
どちらとも言えない	257	6.9%	130	8.3%	127	5.9%
どちらかと言えばそう思わない	54	1.5%	23	1.5%	31	1.4%
そう思わない	41	1.1%	22	1.4%	19	0.9%
合計	3,716		1,567		2,149	

b) 福祉社会学部

回答	学部全体		社会福祉学科		児童学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	1,874	76.2%	665	73.6%	1,209	77.8%
どちらかと言えばそう思う	416	16.9%	165	18.3%	251	16.2%
どちらとも言えない	113	4.6%	54	6.0%	59	3.8%
どちらかと言えばそう思わない	26	1.1%	12	1.3%	14	0.9%
そう思わない	29	1.2%	8	0.9%	21	1.4%
合計	2,458		904		1,554	

c) 国際文化学部

回答	学部全体		国際文化学科		音楽学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	1,067	70.7%	981	71.2%	86	64.7%
どちらかと言えばそう思う	321	21.3%	290	21.1%	31	23.3%
どちらとも言えない	70	4.6%	60	4.4%	10	7.5%
どちらかと言えばそう思わない	37	2.5%	32	2.3%	5	3.8%
そう思わない	15	1.0%	14	1.0%	1	0.8%
合計	1,510		1,377		133	

d) 看護学部

回答	学部全体		看護学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	581	78.5%	581	78.5%
どちらかと言えばそう思う	101	13.6%	101	13.6%
どちらとも言えない	47	6.4%	47	6.4%
どちらかと言えばそう思わない	7	0.9%	7	0.9%
そう思わない	4	0.5%	4	0.5%
合計	740		740	

3) 集計データに関する分析

- ・大学全体では、「そう思う」（72.1％）の回答が最も多く、次いで「どちらかと言えばそう思う」（19.6％）の順となっている。両者を合わせると 91.7％で、全体の 90％以上を占めており、良好な評価となっている。
- ・大学全体の「そう思う」は令和 5 年度前期（70.6％）と比較すると、1.5 ポイント上昇している。
- ・「そう思う」の回答を学部別で比較すると、看護学部（78.5％）が最も多く、経済学部（68.7％）が最も少なくなっている。
- ・「そう思う」の回答を学科別で比較すると、看護学科（78.5％）が最も多い。
- ・令和 5 年度前期と比較すると、「そう思う」の回答が上昇しているのは、経済学部（68.7％）と看護学部（78.5％）となっている。特に、看護学部は 11.7 ポイントと大幅に上昇している。なお、福祉社会学部と国際文化学部は「どちらかと言えばそう思う」の回答が上昇している。

⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。

1) 大学全体

回答	大学全体		経済学部		福祉社会学部		国際文化学部		看護学部	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	5,219	62.0%	2,150	57.9%	1,674	68.1%	910	60.3%	485	65.5%
どちらかと言えばそう思う	2,095	24.9%	996	26.8%	526	21.4%	402	26.6%	171	23.1%
どちらとも言えない	772	9.2%	406	10.9%	170	6.9%	126	8.3%	70	9.5%
どちらかと言えばそう思わない	186	2.2%	83	2.2%	45	1.8%	47	3.1%	11	1.5%
そう思わない	152	1.8%	81	2.2%	43	1.7%	25	1.7%	3	0.4%
合計	8,424		3,716		2,458		1,510		740	

2) 学部別

a) 経済学部

回答	学部全体		経済学科		経営学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	2,150	57.9%	865	55.2%	1,285	59.8%
どちらかと言えばそう思う	996	26.8%	415	26.5%	581	27.0%
どちらとも言えない	406	10.9%	208	13.3%	198	9.2%
どちらかと言えばそう思わない	83	2.2%	40	2.6%	43	2.0%
そう思わない	81	2.2%	39	2.5%	42	2.0%
合計	3,716		1,567		2,149	

b) 福祉社会学部

回答	学部全体		社会福祉学科		児童学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	1,674	68.1%	589	65.2%	1,085	69.8%
どちらかと言えばそう思う	526	21.4%	211	23.3%	315	20.3%
どちらとも言えない	170	6.9%	73	8.1%	97	6.2%
どちらかと言えばそう思わない	45	1.8%	13	1.4%	32	2.1%
そう思わない	43	1.7%	18	2.0%	25	1.6%
合計	2,458		904		1,554	

c) 国際文化学部

回答	学部全体		国際文化学科		音楽学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	910	60.3%	836	60.7%	74	55.6%
どちらかと言えばそう思う	402	26.6%	367	26.7%	35	26.3%
どちらとも言えない	126	8.3%	112	8.1%	14	10.5%
どちらかと言えばそう思わない	47	3.1%	41	3.0%	6	4.5%
そう思わない	25	1.7%	21	1.5%	4	3.0%
合計	1,510		1,377		133	

d) 看護学部

回答	学部全体		看護学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	485	65.5%	485	65.5%
どちらかと言えばそう思う	171	23.1%	171	23.1%
どちらとも言えない	70	9.5%	70	9.5%
どちらかと言えばそう思わない	11	1.5%	11	1.5%
そう思わない	3	0.4%	3	0.4%
合計	740		740	

3) 集計データに関する分析

- ・大学全体では、「そう思う」（62.0％）の割合が最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思う」（24.9％）の順となっている。両者を合わせると 86.9％で、全体の 9 割近くを占めており、概ね良好な評価となっている。なお、6 つの設問においてこの項目の評価が最も低い。
- ・大学全体の「そう思う」は令和 5 年度前期（60.4％）と比較すると、1.6 ポイント上昇している。
- ・「そう思う」の回答を学部別で比較すると、福祉社会学部（68.1％）が最も多く、経済学部（57.9％）が最も少なくなっている。
- ・「そう思う」の回答を学科別で比較すると、児童学科（69.8％）が最も多い。
- ・令和 5 年度前期と比較すると、「そう思う」の回答が上昇しているのは、経済学部（57.9％）と看護学部（65.5％）となっており、両学部とも令和 5 年度前期は 50％を下回っていた。特に、看護学部は 17.5 ポイントと大幅に上昇している。

⑥この授業を受講して満足しましたか。

1) 大学全体

回答	大学全体		経済学部		福祉社会学部		国際文化学部		看護学部	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	5,679	67.4%	2,365	63.6%	1,792	72.9%	999	66.2%	523	70.7%
どちらかと言えばそう思う	1,848	21.9%	901	24.2%	460	18.7%	330	21.9%	157	21.2%
どちらとも言えない	611	7.3%	308	8.3%	126	5.1%	125	8.3%	52	7.0%
どちらかと言えばそう思わない	152	1.8%	72	1.9%	39	1.6%	34	2.3%	7	0.9%
そう思わない	134	1.6%	70	1.9%	41	1.7%	22	1.5%	1	0.1%
合計	8,424		3,716		2,458		1,510		740	

2) 学部別

a) 経済学部

回答	学部全体		経済学科		経営学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	2,365	63.6%	934	59.6%	1,431	66.6%
どちらかと言えばそう思う	901	24.2%	390	24.9%	511	23.8%
どちらとも言えない	308	8.3%	172	11.0%	136	6.3%
どちらかと言えばそう思わない	72	1.9%	38	2.4%	34	1.6%
そう思わない	70	1.9%	33	2.1%	37	1.7%
合計	3,716		1,567		2,149	

b) 福祉社会学部

回答	学部全体		社会福祉学科		児童学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	1,792	72.9%	628	69.5%	1,164	74.9%
どちらかと言えばそう思う	460	18.7%	186	20.6%	274	17.6%
どちらとも言えない	126	5.1%	60	6.6%	66	4.2%
どちらかと言えばそう思わない	39	1.6%	12	1.3%	27	1.7%
そう思わない	41	1.7%	18	2.0%	23	1.5%
合計	2,458		904		1,554	

c) 国際文化学部

回答	学部全体		国際文化学科		音楽学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	999	66.2%	916	66.5%	83	62.4%
どちらかと言えばそう思う	330	21.9%	301	21.9%	29	21.8%
どちらとも言えない	125	8.3%	116	8.4%	9	6.8%
どちらかと言えばそう思わない	34	2.3%	28	2.0%	6	4.5%
そう思わない	22	1.5%	16	1.2%	6	4.5%
合計	1,510		1,377		133	

d) 看護学部

回答	学部全体		看護学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	523	70.7%	523	70.7%
どちらかと言えばそう思う	157	21.2%	157	21.2%
どちらとも言えない	52	7.0%	52	7.0%
どちらかと言えばそう思わない	7	0.9%	7	0.9%
そう思わない	1	0.1%	1	0.1%
合計	740		740	

3) 集計データに関する分析

- ・大学全体では、「そう思う」（67.4％）の割合が最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思う」（21.9％）の順となっている。両者を合わせると 89.3％で、全体の 9 割近くを占めており、概ね良好な評価となっている。
- ・大学全体の「そう思う」は令和 5 年度前期（66.1％）と比較すると、1.3 ポイント上昇している。
- ・「そう思う」の回答を学部別で比較すると、福祉社会学部（72.9％）が最も多く、経済学部（63.6％）が最も少なくなっている。
- ・令和 5 年度前期と比較すると、「そう思う」の回答が上昇しているのは、経済学部（63.6％）と看護学部（70.7％）となっている。特に、看護学部は 13.9 ポイントと大幅に上昇している。
- ・「そう思う」の回答を学科別で比較すると、児童学科（74.9％）が最も多い。
- ・学科別に令和 5 年度前期と比較すると「そう思う」の回答は、経済学科（55.4％→59.6％）、経営学科（56.2％→66.6％）、社会福祉学科（68.3％→69.5％）、児童学科（79.7％→74.9％）、国際文化学科（70.3％→66.5％）、音楽学科（69.9％→62.4％）、看護学科（56.8％→70.7％）となっている。
- ・この設問に至るまでの 5 つの設問で 90％前後の評価を得ていたことが、この満足度の結果につながっている。

3 学生の授業に対する学修到達の自己評価の集計及び分析

(1) 集計結果

この授業のシラバスに記載されている「授業の到達目標」に対して、あなた自身の到達度はどれくらいだと思いますか。

※事前にこの科目のシラバスを確認して回答してください。

1) 大学全体

回答	大学全体		経済学部		福祉社会学部		国際文化学部		看護学部	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
90%以上	3,580	42.5%	1,498	40.3%	1,127	45.9%	538	35.6%	417	56.4%
70%～90%未満	3,437	40.8%	1,441	38.8%	1,039	42.3%	714	47.3%	243	32.8%
50%～70%未満	1,133	13.4%	603	16.2%	240	9.8%	213	14.1%	77	10.4%
30%～50%未満	183	2.2%	124	3.3%	28	1.1%	28	1.9%	3	0.4%
30%未満	91	1.1%	50	1.3%	24	1.0%	17	1.1%	0	0.0%
合計	8,424		3,716		2,458		1,510		740	

2) 学部別

a) 経済学部

回答	学部全体		経済学科		経営学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
90%以上	1,498	40.3%	561	35.8%	937	43.6%
70%～90%未満	1,441	38.8%	601	38.4%	840	39.1%
50%～70%未満	603	16.2%	312	19.9%	291	13.5%
30%～50%未満	124	3.3%	62	4.0%	62	2.9%
30%未満	50	1.3%	31	2.0%	19	0.9%
合計	3,716		1,567		2,149	

b) 福祉社会学部

回答	学部全体		社会福祉学科		児童学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
90%以上	1,127	45.9%	363	40.2%	764	49.2%
70%～90%未満	1,039	42.3%	408	45.1%	631	40.6%
50%～70%未満	240	9.8%	113	12.5%	127	8.2%
30%～50%未満	28	1.1%	7	0.8%	21	1.4%
30%未満	24	1.0%	13	1.4%	11	0.7%
合計	2,458		904		1,554	

c) 国際文化学部

回答	学部全体		国際文化学科		音楽学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
90%以上	538	35.6%	493	35.8%	45	33.8%
70%～90%未満	714	47.3%	655	47.6%	59	44.4%
50%～70%未満	213	14.1%	188	13.7%	25	18.8%
30%～50%未満	28	1.9%	25	1.8%	3	2.3%
30%未満	17	1.1%	16	1.2%	1	0.8%
合計	1,510		1,377		133	

d) 看護学部

回答	学部全体		看護学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比
90%以上	417	56.4%	417	56.4%
70%～90%未満	243	32.8%	243	32.8%
50%～70%未満	77	10.4%	77	10.4%
30%～50%未満	3	0.4%	3	0.4%
30%未満	0	0.0%	0	0.0%
合計	740		740	

(2) 集計データに関する分析

- ・大学全体では「90%以上」(42.5%)の回答が最も多く、次いで「70～90%未満」(40.8%)の順となっている。両者を合わせると83.3%で、全体の8割以上を占めている。
- ・学部別にみると、「90%以上」の回答が最も多いのは看護学部(56.4%)で、「30%未満」の回答が最も多いのは経済学部(1.3%)となっている。
- ・学科別にみると、児童学科の「90%以上」(49.2%)と「70～90%未満」(40.6%)の回答は合わせて学科全体の9割近くを占めており、学科で最も多い。

(3) 学生自身が回答した到達度の理由(自由記述)の代表的な意見等

①90%以上

- ・授業が分かりやすく、楽しかったため。
- ・先生の説明が分かりやすかったため。
- ・毎回しっかり取り組むことができたため。

②70%～90%未満

- ・聞き取りやすく内容も分かりやすかったため。
- ・資料や説明が分かりやすかったため。
- ・完璧に理解することができなかったため。

③50%～70%未満

- ・半分くらいは理解することができたと思ったため。
- ・授業内容を理解することが難しいと感じたため。
- ・思っていた授業と違っていたため。

④30%～50%未満

- ・授業内容が少し難しく、自主学習が乏しかったと感じたため。
- ・資料や先生の話だけでは理解があまりできないため。
- ・自分のレベルに合っていないと感じたため。

⑤30%未満

- ・授業が進むにつれ、説明が難しくなって理解ができなかったため。
- ・自分に見合ったレベル設定ができていなかったと思うため。
- ・寒さなどの確認もなく、環境がとても悪かったため。

IV 後期授業アンケート結果の分析について

1 後期のアンケート回答状況

1) 大学全体

学年	大学全体		
	回答者数	在学者数	回答率
1	566	689	82.1%
2	459	786	58.4%
3	406	691	58.8%
4	165	718	23.0%
大学全体	1,596	2,884	55.3%

学年	経済学部			福祉社会学部			国際文化学部			看護学部		
	回答者数	在学者数	回答率	回答者数	在学者数	回答率	回答者数	在学者数	回答率	回答者数	在学者数	回答率
1	276	339	81.4%	156	175	89.1%	65	102	63.7%	69	73	94.5%
2	182	334	54.5%	146	229	63.8%	77	143	53.8%	54	80	67.5%
3	152	348	43.7%	171	219	78.1%	83	124	66.9%	0	0	0.0%
4	55	350	15.7%	70	217	32.3%	40	151	26.5%	0	0	0.0%
学部全体	665	1,371	48.5%	543	840	64.6%	265	520	51.0%	123	153	80.4%

2) 学部別

a) 経済学部

学年	経済学科			経営学科		
	回答者数	在学者数	回答率	回答者数	在学者数	回答率
1	91	119	76.5%	185	220	84.1%
2	79	155	51.0%	103	179	57.5%
3	71	169	42.0%	81	179	45.3%
4	28	187	15.0%	27	163	16.6%
学科全体	269	630	42.7%	396	741	53.4%

b) 福祉社会学部

学年	社会福祉学科			児童学科		
	回答者数	在学者数	回答率	回答者数	在学者数	回答率
1	59	67	88.1%	97	108	89.8%
2	36	91	39.6%	110	138	79.7%
3	68	88	77.3%	103	131	78.6%
4	58	83	69.9%	12	134	9.0%
学科全体	221	329	67.2%	322	511	63.0%

c) 国際文化学部

学年	国際文化学科			音楽学科		
	回答者数	在学者数	回答率	回答者数	在学者数	回答率
1	62	92	67.4%	3	10	30.0%
2	67	127	52.8%	10	16	62.5%
3	75	106	70.8%	8	18	44.4%
4	35	134	26.1%	5	17	29.4%
学科全体	239	459	52.1%	26	61	42.6%

d) 看護学部

学年	看護学科		
	回答者数	在学者数	回答率
1	69	73	94.5%
2	54	80	67.5%
3	0	0	0.0%
4	0	0	0.0%
学科全体	123	153	80.4%

2 学生の授業と担当教員に対する評価の結果及び分析

(1) 各設問に対する 5 段階評価の平均

アンケート設問 1 の①～⑥について、5 段階評価の平均値を大学全体・学科別・学年別に表にまとめた。集計表内の平均値は、小数点第 3 位以下を四捨五入し、小数点第 2 位までとした。

5 段階評価の内容は、次のとおりである。

5：そう思う 4：どちらかと言えばそう思う 3：どちらとも言えない
2：どちらかと言えばそう思わない 1：そうは思わない

設問①～⑥は、次のように略記する。

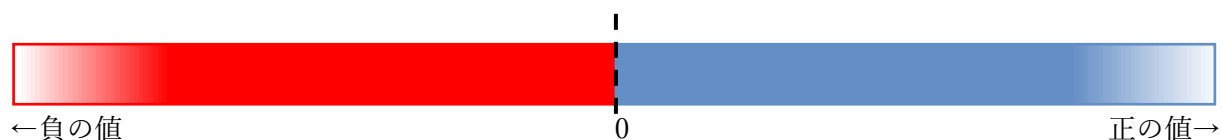
①【準備の周到さ】 ②【明瞭な話し方】 ③【説明の理解】 ④【環境の整備】
⑤【学習意欲の喚起】 ⑥【授業の推奨度】

令和 6 年度前期以前との比較は以下の設問のみ行い、以下の設問を「共通設問」と表記する。

①【準備の周到さ】 ⑤【学習意欲の喚起】

P 3 4～P 3 6 の表は平均値を示した。

また、P 3 7～P 3 9 の表は評価傾向を把握しやすいよう、大学全体の平均を基準に以下のデータバーを用いて表示した。



1) 5段階評価の平均値

a) 学科別

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
大学全体		4.70	4.54	4.48	4.60	4.39	4.43
経済学部	経済学科	4.60	4.46	4.41	4.49	4.29	4.38
	経営学科	4.74	4.59	4.54	4.63	4.45	4.51
福祉社会学部	社会福祉学科	4.59	4.42	4.32	4.52	4.24	4.20
	児童学科	4.79	4.63	4.58	4.65	4.53	4.56
国際文化学部	国際文化学科	4.70	4.52	4.44	4.58	4.36	4.38
	音楽学科	4.78	4.60	4.58	4.63	4.46	4.45
看護学部	看護学科	4.76	4.53	4.45	4.72	4.37	4.44

b) 各学科の学年別

(ア) 経済学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学科全体		4.60	4.46	4.41	4.49	4.29	4.38
学年	1	4.66	4.54	4.50	4.57	4.36	4.43
	2	4.61	4.40	4.33	4.51	4.22	4.34
	3	4.49	4.39	4.31	4.28	4.20	4.32
	4	4.54	4.51	4.49	4.54	4.44	4.47

(イ) 経営学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学科全体		4.74	4.59	4.54	4.63	4.45	4.51
学年	1	4.75	4.61	4.55	4.65	4.46	4.53
	2	4.76	4.60	4.49	4.64	4.38	4.48
	3	4.66	4.50	4.53	4.53	4.46	4.48
	4	4.87	4.67	4.65	4.72	4.59	4.62

(ウ) 社会福祉学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学科全体		4.59	4.42	4.32	4.52	4.24	4.20
学年	1	4.58	4.43	4.32	4.57	4.24	4.24
	2	4.75	4.60	4.52	4.72	4.44	4.46
	3	4.58	4.36	4.25	4.42	4.15	4.06
	4	4.43	4.26	4.21	4.38	4.26	4.20

(エ) 児童学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学科全体		4.79	4.63	4.58	4.65	4.53	4.56
学年	1	4.79	4.60	4.54	4.60	4.47	4.51
	2	4.86	4.72	4.70	4.76	4.63	4.64
	3	4.72	4.59	4.50	4.62	4.48	4.53
	4	4.95	4.68	4.68	4.77	4.82	4.77

(オ)国際文化学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学科全体		4.70	4.52	4.44	4.58	4.36	4.38
学年	1	4.77	4.58	4.48	4.61	4.43	4.47
	2	4.77	4.54	4.48	4.61	4.37	4.37
	3	4.57	4.47	4.36	4.53	4.27	4.28
	4	4.52	4.40	4.36	4.47	4.37	4.34

(カ)音楽学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学科全体		4.78	4.60	4.58	4.63	4.46	4.45
学年	1	4.60	4.40	4.20	4.53	4.20	4.07
	2	4.82	4.42	4.47	4.56	4.42	4.47
	3	4.77	4.71	4.70	4.67	4.49	4.48
	4	5.00	5.00	4.83	5.00	5.00	5.00

(キ)看護学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学科全体		4.76	4.53	4.45	4.72	4.37	4.44
学年	1	4.80	4.54	4.50	4.75	4.42	4.50
	2	4.63	4.49	4.31	4.63	4.23	4.29

2) 大学全体の平均値との乖離状況

a) 学科別

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
経済学部	経済学科	-0.10	-0.08	-0.07	-0.11	-0.10	-0.05
	経営学科	0.04	0.05	0.06	0.03	0.06	0.08
福祉社会学部	社会福祉学科	-0.11	-0.12	-0.16	-0.08	-0.15	-0.23
	児童学科	0.09	0.09	0.10	0.05	0.14	0.13
国際文化学部	国際文化学科	0	-0.02	-0.04	-0.02	-0.03	-0.05
	音楽学科	0.08	0.06	0.10	0.03	0.07	0.02
看護学部	看護学科	0.06	-0.01	-0.03	0.12	-0.02	0.01

b) 各学科の学年別

(ア) 経済学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学年	1	0.06	0.08	0.09	0.08	0.07	0.05
	2	0.01	-0.06	-0.08	0.02	-0.07	-0.04
	3	-0.11	-0.07	-0.10	-0.21	-0.09	-0.06
	4	-0.06	0.05	0.08	0.05	0.15	0.09

(イ)経営学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学年	1	0.01	0.02	0.01	0.02	0.01	0.02
	2	0.02	0.01	-0.05	0.01	-0.07	-0.03
	3	-0.08	-0.09	-0.01	-0.10	0.01	-0.03
	4	0.13	0.08	0.11	0.09	0.14	0.11

(ウ)社会福祉学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学年	1	-0.01	0.01	0	0.05	0	0.04
	2	0.16	0.18	0.20	0.20	0.20	0.26
	3	-0.01	-0.06	-0.07	-0.10	-0.09	-0.14
	4	-0.16	-0.16	-0.11	-0.14	0.02	0

(エ)児童学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学年	1	0	-0.03	-0.04	-0.05	-0.06	-0.05
	2	0.07	0.09	0.12	0.11	0.10	0.08
	3	-0.07	-0.04	-0.08	-0.03	-0.05	-0.03
	4	0.16	0.05	0.10	0.12	0.29	0.21

(オ)国際文化学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学年	1	0.07	0.06	0.04	0.03	0.07	0.09
	2	0.07	0.02	0.04	0.03	0.01	-0.01
	3	-0.13	-0.05	-0.08	-0.05	-0.09	-0.10
	4	-0.18	-0.12	-0.08	-0.11	0.01	-0.04

(カ)音楽学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学年	1	-0.18	-0.20	-0.38	-0.10	-0.26	-0.38
	2	0.04	-0.18	-0.11	-0.07	-0.04	0.02
	3	-0.01	0.11	0.12	0.04	0.03	0.03
	4	0.22	0.40	0.25	0.37	0.54	0.55

(キ)看護学科

設問		①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。	②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか（例えば、適切な速さや声量）。	③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。	④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか（例えば、私語がないなど）。	⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。	⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。
学年	1	0.04	0.01	0.05	0.03	0.05	0.06
	2	-0.13	-0.04	-0.14	-0.09	-0.14	-0.15

①大学全体

- ・大学全体では、総合満足度の指標となる設問⑥【授業の推奨度】の平均値は 4.43 であり、学生は概ね授業に満足しているといえる。令和 4 年度後期からの経年でみると、4.46、4.51、4.43 という結果となっている。その他の設問の平均も 4.39 以上であることから、総じて学生が授業を高く評価していることがうかがえる。
- ・大学全体で最も高い評価となっているのは、教員の授業に対する準備について評価する設問①【準備の周到さ】の 4.70 であり、逆に最も低い評価は、学びに対する意欲を書きたてられたかを評価する設問⑤【学習意欲の喚起】の 4.39 である。この傾向は令和 4 年度後期から変化はない。
- ・令和 5 年度後期と比べると、全ての設問において平均の差は 0.01～0.08 ポイントとわずかであり、大きな変化はなく、高い評価を維持している。

②経済学科

- ・全ての設問において大学全体の評価を下回っている。
- ・学科別に比較すると、社会福祉学科に次いで、2 番目に低い。特に、設問⑤【学習意欲の喚起】の 4.24 は全学科で最も低い評価となっている。
- ・学年別で比較すると、全ての設問において 3 年生の評価が最も低くなっており、令和 5 年度後期では、3 年生は全ての設問において最も評価が高く、全く逆の評価となっている。
- ・令和 5 年度後期と比較すると、全ての設問において評価が上昇しており、授業満足度の底上げができています。

③経営学科

- ・全ての設問において大学全体の評価を上回り、概ね良好な評価といえる。
特に、設問⑥【授業の推奨度】4.51 は大学全体の平均値より 0.08 ポイント程度高くなっている。
- ・学年別で比較すると、1～3 年生の評価に大きな差はない。4 年生は全ての設問において最も高い評価となっており、4 年生の授業への満足度が高いことがうかがえる。これは令和 6 年度前期と同様の傾向である。
- ・経済学科と比較すると、全ての設問において高い評価となっている。
- ・令和 5 年度後期と比べると、全ての設問において評価が上昇しており、授業満足度の底上げができています。

④社会福祉学科

- ・全ての設問において大学全体の評価を下回っている。
- ・学科別に比較すると、社会福祉学科が最も低い。特に、設問⑤【学習意欲の喚起】4.24 は全学科で最も低い評価となっている。
- ・学年別にみると、全ての設問において2年生の評価が最も高い。
- ・設問①【準備の周到さ】、教員の説明の聞き取りやすさを評価する設問②【明瞭な話し方】、教員の説明に対する学生の理解度を評価する設問③【説明の理解】及び受講しやすい環境を評価する設問④【環境の整備】は4年生の評価が最も低く、設問⑤【学習意欲の喚起】と設問⑥【授業の推奨度】は3年生の評価が最も低い。
- ・令和5年度後期と比較すると、設問①【準備の周到さ】、設問②【明瞭な話し方】及び設問④【環境の整備】の評価は上昇していたが、設問⑤【学習意欲の喚起】と設問⑥【授業の推奨度】が低下している。特に、設問⑥【授業の推奨度】は、0.23 ポイントと大幅に低下している。

⑤児童学科

- ・全ての設問において大学全体の評価を上回り、非常に良好な評価となっている。④【環境の整備】を除く設問の評価が最も高い。
- ・学年別にみると、設問①【準備の周到さ】、設問④【環境の整備】、設問⑤【学習意欲の喚起】及び設問⑥【授業の推奨度】は4年生の評価が最も高く、設問②【明瞭な話し方】、設問③【説明の理解】は2年生の評価が最も高い。
- ・令和5年度後期と比較すると、大きな変化はなく、総じて高い評価を維持している。

⑥国際文化学科

- ・全ての設問において大学全体の評価との差は大きくても0.05であり、最も大学全体の評価に近く、概ね良好な評価となっている。
- ・学年別に比較すると、全ての設問において1年生の評価が最も高く、設問⑤【学習意欲の喚起】と設問⑥【総合満足度】を除いて、4年生の評価が最も低くなっている。
- ・令和5年度後期と比較すると、設問⑥【総合満足度】を除いて、評価が上昇しており、総じて評価は高いといえる。

⑦音楽学科

- ・全ての設問において大学全体の評価を上回り、非常に良好な評価となっている。特に、設問③【説明の理解】の4.58は児童学科と同じく最も高い評価となっている。
- ・学年別にみると、全ての設問において4年生の評価が最も高く、設問③【説明の理解】を除いて、平均が5.00となっている。一方で、全ての設問において1年生の評価が最も低い。
- ・令和5年度後期と比較すると、設問④【環境の整備】設問⑤【学習意欲の喚起】及び設問⑥【総合満足度】が低下しており、特に設問⑥【総合満足度】については0.17ポイント低下している。

⑧看護学科

- ・全ての設問において大学全体の評価との差は 0.01～0.12 ポイント程度であり、概ね良好な評価となっている。また、④【環境の整備】の 4.72 は全学科で最も評価が高い。
- ・学年別にみると、全ての設問において 1 年生の評価が高く、2 年生の差は 0.05～0.21 ポイントある。特に、設問⑥【設問⑥【総合満足度】】は 2 年生より 0.21 ポイント上回っている。
- ・令和 5 年度後期と比較すると、設問⑤【学習意欲の喚起】が 0.25 ポイント、設問⑥【総合満足度】が 0.24 ポイント低下している。

(2) 各設問に対する集計結果

①教材などの事前準備がしっかり行われていましたか。

1) 大学全体

回答	大学全体		経済学部		福祉社会学部		国際文化学部		看護学部	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	7,080	78.5%	2,988	77.0%	2,329	79.2%	1,165	79.1%	598	81.9%
どちらかと言えばそう思う	1,401	15.5%	619	16.0%	467	15.9%	224	15.2%	91	12.5%
どちらとも言えない	408	4.5%	217	5.6%	99	3.4%	56	3.8%	36	4.9%
どちらかと言えばそう思わない	71	0.8%	30	0.8%	21	0.7%	15	1.0%	5	0.7%
そう思わない	63	0.7%	25	0.6%	25	0.9%	13	0.9%	0	0.0%
合計	9,023		3,879		2,941		1,473		730	

2) 学部別

a) 経済学部

回答	学部全体		経済学科		経営学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	2,988	77.0%	1,241	74.6%	1,747	78.8%
どちらかと言えばそう思う	619	16.0%	235	14.1%	384	17.3%
どちらとも言えない	217	5.6%	148	8.9%	69	3.1%
どちらかと言えばそう思わない	30	0.8%	23	1.4%	7	0.3%
そう思わない	25	0.6%	16	1.0%	9	0.4%
合計	3,879		1,663		2,216	

b) 福祉社会学部

回答	学部全体		社会福祉学科		児童学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	2,329	79.2%	779	72.3%	1,550	83.2%
どちらかと言えばそう思う	467	15.9%	203	18.8%	264	14.2%
どちらとも言えない	99	3.4%	68	6.3%	31	1.7%
どちらかと言えばそう思わない	21	0.7%	13	1.2%	8	0.4%
そう思わない	25	0.9%	15	1.4%	10	0.5%
合計	2,941		1,078		1,863	

c) 国際文化学部

回答	学部全体		国際文化学科		音楽学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	1,165	79.1%	1,049	78.6%	116	83.5%
どちらかと言えばそう思う	224	15.2%	206	15.4%	18	12.9%
どちらとも言えない	56	3.8%	54	4.0%	2	1.4%
どちらかと言えばそう思わない	15	1.0%	12	0.9%	3	2.2%
そう思わない	13	0.9%	13	1.0%	0	0.0%
合計	1,473		1,334		139	

d) 看護学部

回答	学部全体		看護学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	598	81.9%	598	81.9%
どちらかと言えばそう思う	91	12.5%	91	12.5%
どちらとも言えない	36	4.9%	36	4.9%
どちらかと言えばそう思わない	5	0.7%	5	0.7%
そう思わない	0	0.0%	0	0.0%
合計	730		730	

3) 集計データに関する分析

- ・大学全体では、「そう思う」（78.5%）の回答が最も多く、次いで「どちらかと言えばそう思う」（15.5%）の順となっている。両者を合わせると 94.0%で、全体の 90%以上を占めており、良好な評価となっている。なお、6つの設問においてこの項目の評価が最も高い。
- ・大学全体の「そう思う」は令和5年度後期（75.3%）と比較すると、3.2ポイント上昇している。
- ・「そう思う」の回答を学部別で比較すると、看護学部（81.9%）が最も多く、経済学部（77.0%）が最も少なくなっている。
- ・「そう思う」の回答を学科別で比較すると、音楽学科(83.5%)が最も多く、社会福祉学科(72.3%)が最も低い。児童学科（83.2%）、看護学科（81.9%）も80%以上となっている。
- ・令和5年度後期と比較すると、看護学科を除く学科において「そう思う」の割合が増加している。特に、経済学科においては7.1ポイント上昇している。なお、看護学科についても令和5年度後期（83.1%）から大きく低下している訳ではない。

②教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか(例えば、適切な速さや声量)。

1) 大学全体

回答	大学全体		経済学部		福祉社会学部		国際文化学部		看護学部	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	6,290	69.7%	2,687	69.3%	2,098	71.3%	1,029	69.9%	476	65.2%
どちらかと言えばそう思う	1,749	19.4%	754	19.4%	544	18.5%	274	18.6%	177	24.2%
どちらとも言えない	672	7.4%	316	8.1%	182	6.2%	110	7.5%	64	8.8%
どちらかと言えばそう思わない	202	2.2%	79	2.0%	68	2.3%	42	2.9%	13	1.8%
そう思わない	110	1.2%	43	1.1%	49	1.7%	18	1.2%	0	0.0%
合計	9,023		3,879		2,941		1,473		730	

2) 学部別

a) 経済学部

回答	学部全体		経済学科		経営学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	2,687	69.3%	1,105	66.4%	1,582	71.4%
どちらかと言えばそう思う	754	19.4%	312	18.8%	442	19.9%
どちらとも言えない	316	8.1%	186	11.2%	130	5.9%
どちらかと言えばそう思わない	79	2.0%	33	2.0%	46	2.1%
そう思わない	43	1.1%	27	1.6%	16	0.7%
合計	3,879		1,663		2,216	

b) 福祉社会学部

回答	学部全体		社会福祉学科		児童学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	2,098	71.3%	691	64.1%	1,407	75.5%
どちらかと言えばそう思う	544	18.5%	232	21.5%	312	16.7%
どちらとも言えない	182	6.2%	95	8.8%	87	4.7%
どちらかと言えばそう思わない	68	2.3%	35	3.2%	33	1.8%
そう思わない	49	1.7%	25	2.3%	24	1.3%
合計	2,941		1,078		1,863	

c) 国際文化学部

回答	学部全体		国際文化学科		音楽学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	1,029	69.9%	924	69.3%	105	75.5%
どちらかと言えばそう思う	274	18.6%	255	19.1%	19	13.7%
どちらとも言えない	110	7.5%	102	7.6%	8	5.8%
どちらかと言えばそう思わない	42	2.9%	35	2.6%	7	5.0%
そう思わない	18	1.2%	18	1.3%	0	0.0%
合計	1,473		1,334		139	

d) 看護学部

回答	学部全体		看護学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	476	65.2%	476	65.2%
どちらかと言えばそう思う	177	24.2%	177	24.2%
どちらとも言えない	64	8.8%	64	8.8%
どちらかと言えばそう思わない	13	1.8%	13	1.8%
そう思わない	0	0.0%	0	0.0%
合計	730		730	

3) 集計データに関する分析

- ・大学全体では、「そう思う」（69.7％）の回答が最も多く、次いで「どちらかと言えばそう思う」（19.4％）の順となっている。両者を合わせると 89.1％で、全体の 90％以近くを占めており、概ね良好な評価となっている。
- ・大学全体の「そう思う」は令和 5 年度後期（66.7％）と比較すると、3.0 ポイント上昇している。
- ・「そう思う」の回答を学部別で比較すると、福祉社会学部（71.3％）が最も多く、看護学部（65.2％）が最も少なくなっている。
- ・「そう思う」の回答を学科別で比較すると、児童学科（75.5％）と音楽学科（75.5％）が最も多くなっており、最も少ないのは社会福祉学科（64.1％）となっている。
- ・令和 5 年度後期と比較すると、音楽学科、看護学科を除く学科において「そう思う」の回答が上昇している。特に、経営学科は令和 5 年度後期（63.7％）から 7.7 ポイント上昇している。

③教員の説明は分かりやすく、理解できましたか。

1) 大学全体

回答	大学全体		経済学部		福祉社会学部		国際文化学部		看護学部	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	5,882	65.2%	2,516	64.9%	1,967	66.9%	961	65.2%	438	60.0%
どちらかと言えばそう思う	2,035	22.6%	893	23.0%	624	21.2%	318	21.6%	200	27.4%
どちらとも言えない	764	8.5%	348	9.0%	217	7.4%	123	8.4%	76	10.4%
どちらかと言えばそう思わない	200	2.2%	73	1.9%	72	2.4%	42	2.9%	13	1.8%
そう思わない	142	1.6%	49	1.3%	61	2.1%	29	2.0%	3	0.4%
合計	9,023		3,879		2,941		1,473		730	

2) 学部別

a) 経済学部

回答	学部全体		経済学科		経営学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	2,516	64.9%	1,036	62.3%	1,480	66.8%
どちらかと言えばそう思う	893	23.0%	365	21.9%	528	23.8%
どちらとも言えない	348	9.0%	198	11.9%	150	6.8%
どちらかと言えばそう思わない	73	1.9%	35	2.1%	38	1.7%
そう思わない	49	1.3%	29	1.7%	20	0.9%
合計	3,879		1,663		2,216	

b) 福祉社会学部

回答	学部全体		社会福祉学科		児童学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	1,967	66.9%	630	58.4%	1,337	71.8%
どちらかと言えばそう思う	624	21.2%	270	25.0%	354	19.0%
どちらとも言えない	217	7.4%	105	9.7%	112	6.0%
どちらかと言えばそう思わない	72	2.4%	36	3.3%	36	1.9%
そう思わない	61	2.1%	37	3.4%	24	1.3%
合計	2,941		1,078		1,863	

c) 国際文化学部

回答	学部全体		国際文化学科		音楽学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	961	65.2%	857	64.2%	104	74.8%
どちらかと言えばそう思う	318	21.6%	297	22.3%	21	15.1%
どちらとも言えない	123	8.4%	116	8.7%	7	5.0%
どちらかと言えばそう思わない	42	2.9%	38	2.8%	4	2.9%
そう思わない	29	2.0%	26	1.9%	3	2.2%
合計	1,473		1,334		139	

d) 看護学部

回答	学部全体		看護学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	438	60.0%	438	60.0%
どちらかと言えばそう思う	200	27.4%	200	27.4%
どちらとも言えない	76	10.4%	76	10.4%
どちらかと言えばそう思わない	13	1.8%	13	1.8%
そう思わない	3	0.4%	3	0.4%
合計	730		730	

3) 集計データに関する分析

- ・大学全体では、「そう思う」(65.2%)の回答が最も多く、次いで「どちらかと言えばそう思う」(22.6%)の順となっている。両者を合わせると87.8%で、全体の9割近くを占めており、概ね良好な評価となっている。
- ・「そう思う」の回答を学部別で比較すると、福祉社会学部(66.9%)が最も多く、看護学部(60.0%)が最も少なくなっている
- ・「そう思う」の回答を学科別で比較すると、音楽学科(74.8%)が最も多い。

④授業に集中しやすい環境が保たれていましたか(例えば、私語がないなど)。

※教室の広さ、Wi-Fi 環境、冷暖房の調整など担当教員の指導以外の要因は除きます。

1) 大学全体

回答	大学全体		経済学部		福祉社会学部		国際文化学部		看護学部	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	6,443	71.4%	2,714	70.0%	2,122	72.2%	1,046	71.0%	561	76.8%
どちらかと言えばそう思う	1,808	20.0%	802	20.7%	579	19.7%	295	20.0%	132	18.1%
どちらとも言えない	563	6.2%	261	6.7%	174	5.9%	93	6.3%	35	4.8%
どちらかと言えばそう思わない	121	1.3%	65	1.7%	33	1.1%	21	1.4%	2	0.3%
そう思わない	88	1.0%	37	1.0%	33	1.1%	18	1.2%	0	0.0%
合計	9,023		3,879		2,941		1,473		730	

2) 学部別

a) 経済学部

回答	学部全体		経済学科		経営学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	2,714	70.0%	1,129	67.9%	1,585	71.5%
どちらかと言えばそう思う	802	20.7%	315	18.9%	487	22.0%
どちらとも言えない	261	6.7%	150	9.0%	111	5.0%
どちらかと言えばそう思わない	65	1.7%	40	2.4%	25	1.1%
そう思わない	37	1.0%	29	1.7%	8	0.4%
合計	3,879		1,663		2,216	

b) 福祉社会学部

回答	学部全体		社会福祉学科		児童学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	2,122	72.2%	727	67.4%	1,395	74.9%
どちらかと言えばそう思う	579	19.7%	235	21.8%	344	18.5%
どちらとも言えない	174	5.9%	87	8.1%	87	4.7%
どちらかと言えばそう思わない	33	1.1%	12	1.1%	21	1.1%
そう思わない	33	1.1%	17	1.6%	16	0.9%
合計	2,941		1,078		1,863	

c) 国際文化学部

回答	学部全体		国際文化学科		音楽学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	1,046	71.0%	940	70.5%	106	76.3%
どちらかと言えばそう思う	295	20.0%	273	20.5%	22	15.8%
どちらとも言えない	93	6.3%	87	6.5%	6	4.3%
どちらかと言えばそう思わない	21	1.4%	18	1.3%	3	2.2%
そう思わない	18	1.2%	16	1.2%	2	1.4%
合計	1,473		1,334		139	

d) 看護学部

回答	学部全体		看護学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	561	76.8%	561	76.8%
どちらかと言えばそう思う	132	18.1%	132	18.1%
どちらとも言えない	35	4.8%	35	4.8%
どちらかと言えばそう思わない	2	0.3%	2	0.3%
そう思わない	0	0.0%	0	0.0%
合計	730		730	

3) 集計データに関する分析

- ・大学全体では、「そう思う」（71.4%）の回答が最も多く、次いで「どちらかと言えばそう思う」（20.0%）の順となっている。両者を合わせると 91.7%で、全体の 90%以上を占めており、良好な評価となっている。
- ・大学全体の「そう思う」は令和 5 年度後期（70.2%）と比較すると、1.2 ポイント上昇している。
- ・「そう思う」の回答を学部別で比較すると、看護学部（76.8%）が最も多く、経済学部（70.0%）が最も少なくなっている。
- ・「そう思う」の回答を学科別で比較すると、看護学科（76.8%）が最も多い。
- ・令和 5 年度後期と比較すると、「そう思う」の回答が上昇しているのは、経済学部（70.0%）と国際文化学部（71.0%）となっている。特に、経済学部は 4.5 ポイント上昇している。

⑤学びに対する意欲をかきたてられましたか。

1) 大学全体

回答	大学全体		経済学部		福祉社会学部		国際文化学部		看護学部	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	5,380	59.6%	2,270	58.5%	1,831	62.3%	897	60.9%	382	52.3%
どちらかと言えばそう思う	2,288	25.4%	997	25.7%	713	24.2%	339	23.0%	239	32.7%
どちらとも言えない	999	11.1%	472	12.2%	267	9.1%	156	10.6%	104	14.2%
どちらかと言えばそう思わない	211	2.3%	92	2.4%	64	2.2%	51	3.5%	4	0.5%
そう思わない	145	1.6%	48	1.2%	66	2.2%	30	2.0%	1	0.1%
合計	9,023		3,879		2,941		1,473		730	

2) 学部別

a) 経済学部

回答	学部全体		経済学科		経営学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	2,270	58.5%	939	56.5%	1,331	60.1%
どちらかと言えばそう思う	997	25.7%	385	23.2%	612	27.6%
どちらとも言えない	472	12.2%	251	15.1%	221	10.0%
どちらかと言えばそう思わない	92	2.4%	56	3.4%	36	1.6%
そう思わない	48	1.2%	32	1.9%	16	0.7%
合計	3,879		1,663		2,216	

b) 福祉社会学部

回答	学部全体		社会福祉学科		児童学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	1,831	62.3%	576	53.4%	1,255	67.4%
どちらかと言えばそう思う	713	24.2%	295	27.4%	418	22.4%
どちらとも言えない	267	9.1%	136	12.6%	131	7.0%
どちらかと言えばそう思わない	64	2.2%	30	2.8%	34	1.8%
そう思わない	66	2.2%	41	3.8%	25	1.3%
合計	2,941		1,078		1,863	

c) 国際文化学部

回答	学部全体		国際文化学科		音楽学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	897	60.9%	797	59.7%	100	71.9%
どちらかと言えばそう思う	339	23.0%	324	24.3%	15	10.8%
どちらとも言えない	156	10.6%	141	10.6%	15	10.8%
どちらかと言えばそう思わない	51	3.5%	45	3.4%	6	4.3%
そう思わない	30	2.0%	27	2.0%	3	2.2%
合計	1,473		1,334		139	

d) 看護学部

回答	学部全体		看護学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	382	52.3%	382	52.3%
どちらかと言えばそう思う	239	32.7%	239	32.7%
どちらとも言えない	104	14.2%	104	14.2%
どちらかと言えばそう思わない	4	0.5%	4	0.5%
そう思わない	1	0.1%	1	0.1%
合計	730		730	

3) 集計データに関する分析

- ・大学全体では、「そう思う」（59.6％）の割合が最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思う」（25.4％）の順となっている。両者を合わせると 85.0％で、全体の 9 割近くを占めており、概ね良好な評価となっている。なお、6 つの設問においてこの項目の評価が最も低い。
- ・大学全体の「そう思う」は令和 5 年度後期（60.1％）と比較すると、0.5 ポイント低下しているが、大きな変化はない。
- ・「そう思う」の回答を学部別で比較すると、福祉社会学部（62.3％）が最も多く、看護学部（52.3％）が最も少なくなっている。
- ・「そう思う」の回答を学科別で比較すると、音楽学科（71.9％）が最も多い。
- ・令和 5 年度後期と比較すると、「そう思う」の回答が上昇しているのは、経済学部（58.5％）と国際文化学部（60.9％）となっている。一方で、看護学部（52.3％）は 18.8 ポイントと大幅に低下している。

⑥この授業の受講を他の人に勧めたいですか。

1) 大学全体

回答	大学全体		経済学部		福祉社会学部		国際文化学部		看護学部	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	5,689	63.0%	2,470	63.7%	1,875	63.8%	917	62.3%	427	58.5%
どちらかと言えばそう思う	2,057	22.8%	886	22.8%	641	21.8%	317	21.5%	213	29.2%
どちらとも言えない	942	10.4%	399	10.3%	300	10.2%	167	11.3%	76	10.4%
どちらかと言えばそう思わない	172	1.9%	70	1.8%	57	1.9%	35	2.4%	10	1.4%
そう思わない	163	1.8%	54	1.4%	68	2.3%	37	2.5%	4	0.5%
合計	9,023		3,879		2,941		1,473		730	

2) 学部別

a) 経済学部

回答	学部全体		経済学科		経営学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	2,470	63.7%	1,030	61.9%	1,440	65.0%
どちらかと言えばそう思う	886	22.8%	345	20.7%	541	24.4%
どちらとも言えない	399	10.3%	215	12.9%	184	8.3%
どちらかと言えばそう思わない	70	1.8%	37	2.2%	33	1.5%
そう思わない	54	1.4%	36	2.2%	18	0.8%
合計	3,879		1,663		2,216	

b) 福祉社会学部

回答	学部全体		社会福祉学科		児童学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	1,875	63.8%	572	53.1%	1,303	69.9%
どちらかと言えばそう思う	641	21.8%	269	25.0%	372	20.0%
どちらとも言えない	300	10.2%	164	15.2%	136	7.3%
どちらかと言えばそう思わない	57	1.9%	31	2.9%	26	1.4%
そう思わない	68	2.3%	42	3.9%	26	1.4%
合計	2,941		1,078		1,863	

c) 国際文化学部

回答	学部全体		国際文化学科		音楽学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	917	62.3%	820	61.5%	97	69.8%
どちらかと言えばそう思う	317	21.5%	293	22.0%	24	17.3%
どちらとも言えない	167	11.3%	160	12.0%	7	5.0%
どちらかと言えばそう思わない	35	2.4%	29	2.2%	6	4.3%
そう思わない	37	2.5%	32	2.4%	5	3.6%
合計	1,473		1,334		139	

d) 看護学部

回答	学部全体		看護学科	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比
そう思う	427	58.5%	427	58.5%
どちらかと言えばそう思う	213	29.2%	213	29.2%
どちらとも言えない	76	10.4%	76	10.4%
どちらかと言えばそう思わない	10	1.4%	10	1.4%
そう思わない	4	0.5%	4	0.5%
合計	730		730	

3) 集計データに関する分析

- ・大学全体では、「そう思う」（63.0％）の割合が最も高く、次いで「どちらかと言えばそう思う」（22.8％）の順となっている。両者を合わせると 85.8％で、全体の 9 割近くを占めており、概ね良好な評価となっている。
- ・大学全体の「そう思う」は令和 5 年度後期（65.9％）と比較すると、2.9 ポイント低下している。
- ・「そう思う」の回答を学部別で比較すると、福祉社会学部（63.8％）が最も多く、看護学部（58.5％）が最も少なくなっている。
- ・令和 5 年度後期と比較すると、「そう思う」の回答が上昇しているのは、経済学部（63.7％）のみで他の学部は低下している。特に、看護学部 17.5 ポイントと大幅に低下している。
- ・「そう思う」の回答を学科別で比較すると、児童学科（69.9％）が最も多い。
- ・学科別に令和 5 年度後期と比較すると「そう思う」の回答は、経済学科（56.2％→61.9％）、経営学科（62.9％→65.0％）、社会福祉学科（63.1％→53.1％）、児童学科（73.6％→69.9％）、国際文化学科（64.7％→61.5％）、音楽学科（77.0％→69.8％）、看護学科（76.0％→58.5％）となっている。
- ・この設問に至るまでの 5 つの設問で 90％前後の評価を得ていたことが、この満足度の結果につながっている。

3 授業をより良くするための学生からの意見・要望等（自由記述）の集計及び分析

（１）「この授業の良かった点、続けて欲しい点は何ですか。」に対するアンケート結果の集計・分析方法について

- ①「この授業の良かった点、続けて欲しい点は何ですか。」に対する回答を集計・分析している。
- ②分析は在学生のみを対象としている。
- ③「専門科目」「共通教育科目」「その他の科目」ごとに分析している。また、「専門科目」については学科ごとに分析している。
- ④「特になし」（表現が異なっても趣旨が同じ回答を含む）やカテゴリの判断が不可能な回答は対象外としている。
- ⑤分析にはグラウンデッド・セオリー・アプローチの手法を用い、以下の⑥及び⑦のとおりカテゴリ・ラベル分けを行い、件数や割合を算出している。また、1 件の回答に対し最多で 3 件のラベルを付与しているため、回答数と件数合計には差が生じている。件数は各ラベルが付与された数とし、件数合計はラベルが付与された件数の合計としている。
- ⑥カテゴリは以下の 6 つに分類している。
 - ・ 教示…教員の資質や能力による要因
 - ・ 教材…授業に用いた資料
 - ・ 学習環境…授業を行う環境
 - ・ 教授法…授業の進め方や内容
 - ・ 評価…単位に関する基準や欠席時の対応
 - ・ 意欲への影響…受講による意欲の変化
- ⑦ラベルとは、回答の主な内容や論点を端的に表す名称である。同様の傾向のある回答に同一のラベルを付与することで、全体の傾向を把握しやすくしている。
- ⑧割合は小数点第二位を四捨五入し小数点第一位までとしている。そのため合計値は必ずしも 100% になるとは限らない。また、割合の合計は四捨五入後の割合を足し合わせた値である。

(2) 専門科目におけるカテゴリごとの学科比較

専門科目のカテゴリごとの件数の割合を各学科で比較した。

なお、割合は各学科の件数合計を分母として算出している。

	教示	教材	学習環境	教授法	評価	意欲への影響
経済	25.6%	32.3%	10.6%	20.5%	5.9%	4.8%
経営	29.5%	31.6%	8.2%	26.2%	3.1%	1.8%
社会福祉	15.9%	36.2%	5.6%	39.4%	1.3%	1.1%
児童	23.8%	9.6%	6.4%	53.1%	0.9%	6.5%
国際文化	19.8%	22.0%	12.3%	39.5%	1.9%	4.6%
音楽	40.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%
看護	16.4%	33.4%	6.5%	39.0%	0.5%	4.5%

(3) 各学科の専門科目の分析結果

①経済学科

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 316 件、件数合計は 417 件となった。

カテゴリごとの上位 3 項目についてのラベルを以下に抜粋した。

要因

教示

- 1 分かりやすい説明／詳しい説明
- 2 聞き取りやすい話し方／適切な速さや声量
- 3 授業を飽きさせない工夫

教材

- 1 丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進
- 2 動画の活用
- 3 資料の事前公開・準備／万全な事前準備

学習環境

- 1 ICT 活用によるオンライン授業・課題提出・資料配布
- 2 快適な教室の整備(視聴覚関連・教室の広さ・Wi-Fi 環境・冷暖房の調整)
- 3 集中しやすい環境の維持／学習に適した雰囲気

教授法

- 1 テスト対策支援(プレテスト・模擬試験含む)
- 2 小テストや確認テストの活用
- 3 参加意欲を引き出す授業設計／見通しをもった学習

評価

- 1 欠席時対応の柔軟性
- 2 明確な評価基準

意欲への影響

- 1 学習意欲の向上／興味促進／社会・時事・経済への関心喚起
- 2 積極的・集中的な取り組み
- 2 他者意見による視野の拡大

①経済学科

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計(417 件)を分母として算出している。

1) 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	分かりやすい説明／詳しい説明	55	13.2%
2	聞き取りやすい話し方／適切な速さや声量	25	6.0%
3	授業を飽きさせない工夫	12	2.9%
4	適切な授業進行ペース	8	1.9%
5	教員の知識量や経験を活かした内容	3	0.7%
5	個別の丁寧な指導／具体的なアドバイス	3	0.7%
7	温かさ・誠実さを感じる人柄／教員の授業に対する熱意	1	0.2%
合計		107	25.6%

2) 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進	43	10.3%
2	動画の活用	26	6.2%
3	資料の事前公開・準備／万全な事前準備	20	4.8%
4	スライド・プリント・レジュメなど資料の配布	12	2.9%
5	見やすいスライド（パワーポイント）・板書	11	2.6%
6	書き込み式プリントの活用	9	2.2%
6	実践的な資料提示／身近な題材／過去の事例	9	2.2%
8	豊富な資料の提供	3	0.7%
9	質問・感想・レポートなどの用紙の活用	1	0.2%
9	資料の適切な分量・質のバランス	1	0.2%
合計		135	32.3%

3) 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	ICT活用によるオンライン授業・課題提出・資料配布	27	6.5%
2	快適な教室の整備（視聴覚関連・教室の広さ・Wi-Fi環境・冷暖房の調整）	9	2.2%
3	集中しやすい環境の維持／学習に適した雰囲気	3	0.7%
4	規律に基づいた指導による学習環境の形成	2	0.5%
4	個人の質問・意見を全体に共有できる環境／他者の意見を 知ることができる環境	2	0.5%
6	発言・質問しやすい環境づくり	1	0.2%
合計		44	10.6%

4) 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	テスト対策支援（プレテスト・模擬試験含む）	15	3.6%
2	小テストや確認テストの活用	14	3.4%
3	参加意欲を引き出す授業設計／見通しをもった学習	12	2.9%
4	教科書・プリントに沿った授業	6	1.4%
4	専門的学習／実践現場に結びつく学習	6	1.4%
6	練習問題・演習課題による理解促進	5	1.2%
7	確認課題の活用	4	1.0%
7	対話的な学習活動の充実（グループワーク・ペア活動・ 話し合い・意見交換）	4	1.0%
7	主体的な学習活動の充実（主体的に考える時間・自由進度 学習・自主的な調査・まとめ作業）	4	1.0%
10	課題の内容が適切	3	0.7%
10	教科書を用いない授業	3	0.7%
10	レスポンスシートによる理解の促進	3	0.7%
10	休講時の適切な対応	3	0.7%
14	テイクホーム試験・受験方法の柔軟化	1	0.2%
14	振り返りの実施	1	0.2%
14	個人発表の回避	1	0.2%
14	発表機会の設定	1	0.2%
合計		86	20.5%

5) 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	欠席時対応の柔軟性	11	2.6%
2	明確な評価基準	10	2.4%
3	発表・スピーチによる得点方式	3	0.7%
4	レポートによる得点方式	1	0.2%
合計		25	5.9%

6) 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
1	学習意欲の向上／興味促進／社会・時事・経済への関心喚起	15	3.6%
2	積極的・集中的な取り組み	2	0.5%
2	他者意見による視野の拡大	2	0.5%
4	職業意識・キャリア意識の向上	1	0.2%
合計		20	4.8%

②経営学科

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 468 件、件数合計は 585 件となった。

カテゴリごとの上位 3 項目についてのラベルを以下に抜粋した。

要因

教示

- 1 分かりやすい説明／詳しい説明
- 2 授業を飽きさせない工夫
- 3 聞き取りやすい話し方／適切な速さや声量

教材

- 1 丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進
- 2 見やすいスライド(パワーポイント)・板書
- 3 スライド・プリント・レジュメなど資料の配布

学習環境

- 1 ICT 活用によるオンライン授業・課題提出・資料配布
- 2 規律に基づいた指導による学習環境の形成
- 2 集中しやすい環境の維持／学習に適した雰囲気

教授法

- 1 小テストや確認テストの活用
- 2 専門的学習／実践現場に結びつく学習
- 3 外部講師による教え(外部講師・専門家による話)

評価

- 1 明確な評価基準
- 2 発表・スピーチによる得点方式

意欲への影響

- 1 学習意欲の向上／興味促進／社会・時事・経済への関心喚起
- 2 職業意識・キャリア意識の向上
- 2 他者意見による視野の拡大

②経営学科

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計(585 件)を分母として算出している。

1) 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	分かりやすい説明／詳しい説明	88	15.0%
2	授業を飽きさせない工夫	29	5.0%
3	聞き取りやすい話し方／適切な速さや声量	24	4.1%
4	個別の丁寧な指導／具体的なアドバイス	9	1.5%
5	適切な授業進行ペース	8	1.4%
6	学生を尊重する／学生を対等に扱う姿勢	7	1.2%
7	温かさ・誠実さを感じる人柄／教員の授業に対する熱意	5	0.9%
8	予習・課題の具体的な指示	1	0.2%
8	教員の知識量や経験を活かした内容	1	0.2%
合計		172	29.5%

2) 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進	39	6.7%
2	見やすいスライド（パワーポイント）・板書	34	5.8%
3	スライド・プリント・レジュメなど資料の配布	29	5.0%
4	動画の活用	26	4.4%
5	書き込み式プリントの活用	19	3.2%
6	実践的な資料提示／身近な題材／過去の事例	18	3.1%
7	資料の事前公開・準備／万全な事前準備	7	1.2%
8	板書の活用	5	0.9%
8	豊富な資料の提供	5	0.9%
10	テキストの回答配布	1	0.2%
10	資料の適切な分量・質のバランス	1	0.2%
合計		184	31.6%

3) 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	ICT活用によるオンライン授業・課題提出・資料配布	23	3.9%
2	規律に基づいた指導による学習環境の形成	7	1.2%
2	集中しやすい環境の維持／学習に適した雰囲気	7	1.2%
4	快適な教室の整備（視聴覚関連・教室の広さ・Wi-Fi環境・冷暖房の調整）	6	1.0%
5	発言・質問しやすい環境づくり	5	0.9%
合計		48	8.2%

4) 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	小テストや確認テストの活用	40	6.8%
2	専門的学習／実践現場に結びつく学習	31	5.3%
3	外部講師による教え（外部講師・専門家による話）	14	2.4%
4	参加意欲を引き出す授業設計／見通しをもった学習	8	1.4%
4	テスト時のレジュメ持ち込みの許可	8	1.4%
4	テスト対策支援（プレテスト・模擬試験含む）	8	1.4%
7	確認課題の活用	7	1.2%
8	課題の内容が適切	6	1.0%
9	対話的な学習活動の充実（グループワーク・ペア活動・話し合い・意見交換）	5	0.9%
9	主体的な学習活動の充実（主体的に考える時間・自由進度学習・自主的な調査・まとめ作業）	5	0.9%
11	ノート作成の指示	4	0.7%
12	休講時の適切な対応	3	0.5%
12	レスポンスシートによる理解の促進	3	0.5%
14	テスト回数の分割による負担軽減	2	0.3%
14	教科書・プリントに沿った授業	2	0.3%
16	意見・質問へのコメント返却	1	0.2%
16	テイクホーム試験・受験方法の柔軟化	1	0.2%
16	学習内容の定着を促す工夫の有効性	1	0.2%
16	授業内でのテスト実施の配慮	1	0.2%
16	発表機会の設定	1	0.2%
16	評価物の返却方法の工夫	1	0.2%
合計		152	26.2%

5) 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	明確な評価基準	11	1.9%
2	発表・スピーチによる得点方式	4	0.7%
3	欠席時対応の柔軟性	3	0.5%
合計		18	3.1%

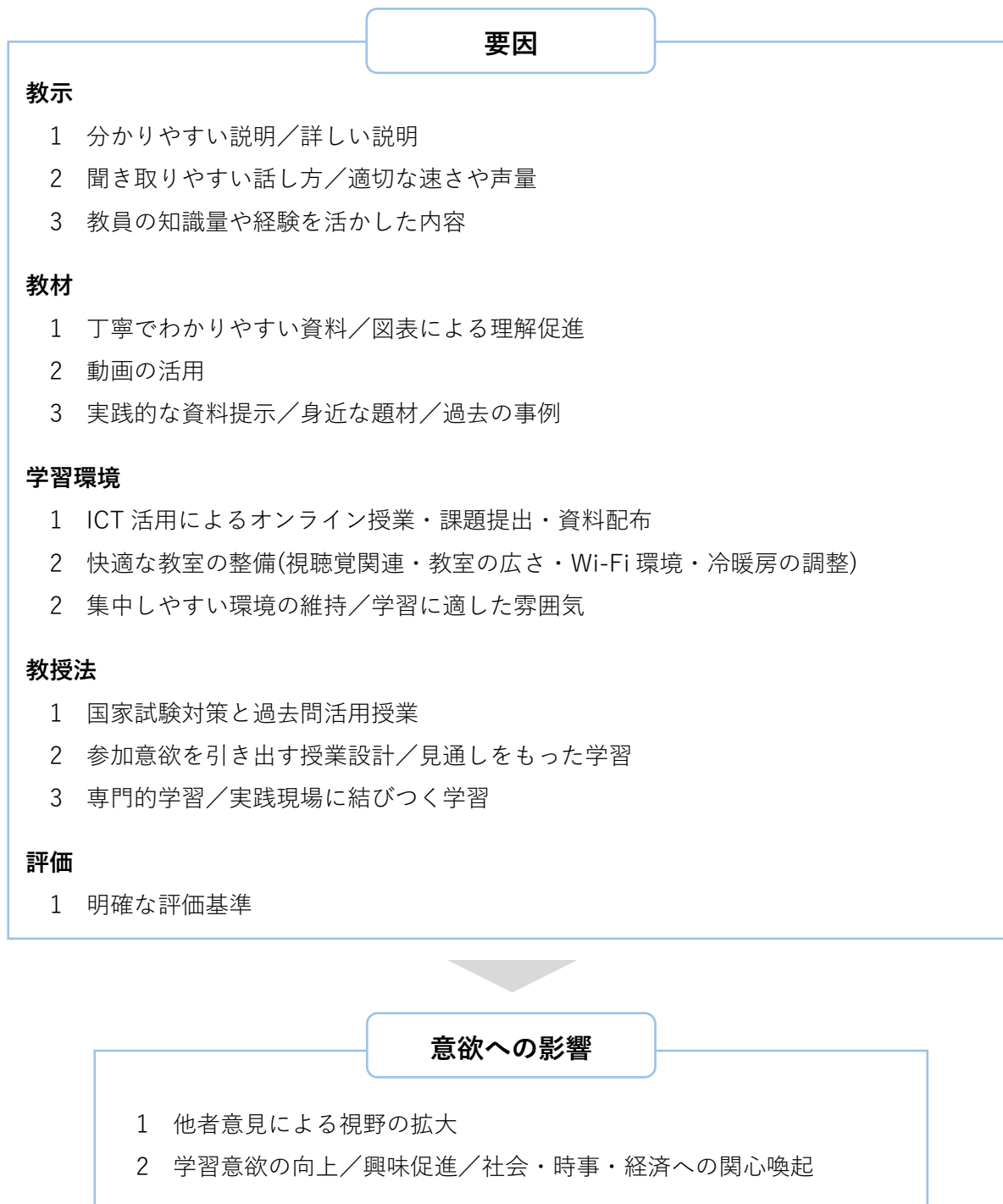
6) 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
1	学習意欲の向上／興味促進／社会・時事・経済への関心喚起	6	1.0%
2	職業意識・キャリア意識の向上	2	0.3%
2	他者意見による視野の拡大	2	0.3%
4	成長の実感	1	0.2%
合計		11	1.8%

③社会福祉学科

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 312 件、件数合計は 448 件となった。

カテゴリごとの上位 3 項目についてのラベルを以下に抜粋した。



③社会福祉学科

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計(448 件)を分母として算出している。

1) 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	分かりやすい説明／詳しい説明	44	9.8%
2	聞き取りやすい話し方／適切な速さや声量	9	2.0%
3	教員の知識量や経験を活かした内容	8	1.8%
4	温かさ・誠実さを感じる人柄／教員の授業に対する熱意	4	0.9%
5	適切な授業進行ペース	2	0.4%
5	学生を尊重する／学生を対等に扱う姿勢	2	0.4%
5	授業を飽きさせない工夫	2	0.4%
8	予習・課題の具体的な指示	1	0.2%
合計		72	15.9%

2) 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進	45	10.0%
2	動画の活用	35	7.8%
3	実践的な資料提示／身近な題材／過去の事例	23	5.1%
4	スライド・プリント・レジュメなど資料の配布	18	4.0%
5	見やすいスライド（パワーポイント）・板書	17	3.8%
6	資料の事前公開・準備／万全な事前準備	16	3.6%
7	豊富な資料の提供	3	0.7%
8	書き込み式プリントの活用	2	0.4%
9	テキストの回答配布	1	0.2%
9	幅広い分野の学習	1	0.2%
9	字幕付きの動画の提供	1	0.2%
9	板書の活用	1	0.2%
合計		163	36.2%

3) 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	ICT活用によるオンライン授業・課題提出・資料配布	17	3.8%
2	快適な教室の整備（視聴覚関連・教室の広さ・Wi-Fi環境・冷暖房の調整）	3	0.7%
2	集中しやすい環境の維持／学習に適した雰囲気	3	0.7%
4	発言・質問しやすい環境づくり	1	0.2%
4	黙想の導入による集中の促進	1	0.2%
合計		25	5.6%

4) 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	国家試験対策と過去問活用授業	49	10.9%
2	参加意欲を引き出す授業設計／見通しをもった学習	23	5.1%
3	専門的学習／実践現場に結びつく学習	20	4.5%
4	対話的な学習活動の充実（グループワーク・ペア活動・話し合い・意見交換）	14	3.1%
5	小テストや確認テストの活用	11	2.5%
6	振り返りの実施	8	1.8%
7	テスト対策支援（プレテスト・模擬試験含む）	7	1.6%
8	体験重視の実践的な学習	6	1.3%
9	レスポンスシートによる理解の促進	5	1.1%
9	レポート・課題・宿題の実施	5	1.1%
9	課題の内容が適切	5	1.1%
9	教科書・プリントに沿った授業	5	1.1%
9	主体的な学習活動の充実（主体的に考える時間・自由進度学習・自主的な調査・まとめ作業）	5	1.1%
14	意見・質問へのコメント返却	3	0.7%
14	確認課題の活用	3	0.7%
14	学習内容の定着を促す工夫の有効性	3	0.7%
17	練習問題・演習課題による理解促進	2	0.4%
18	テスト時のレジュメ持ち込みの許可	1	0.2%
18	外部講師による教え（外部講師・専門家による話）	1	0.2%
18	発表機会の設定	1	0.2%
合計		177	39.4%

5) 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	明確な評価基準	4	0.9%
2	欠席時対応の柔軟性	2	0.4%
合計		6	1.3%

6) 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
1	他者意見による視野の拡大	4	0.9%
2	学習意欲の向上／興味促進／社会・時事・経済への関心喚起	1	0.2%
合計		5	1.1%

④児童学科

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 693 件、件数合計は 1,064 件となった。

カテゴリごとの上位 3 項目についてのラベルを以下に抜粋した。

要因

教示

- 1 分かりやすい説明／詳しい説明
- 2 個別の丁寧な指導／具体的なアドバイス
- 3 教員の知識量や経験を活かした内容

教材

- 1 丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進
- 2 動画の活用
- 3 資料の事前公開・準備／万全な事前準備（同順位他 1 件）

学習環境

- 1 集中しやすい環境の維持／学習に適した雰囲気
- 2 ICT 活用によるオンライン授業・課題提出・資料配布
- 3 規律に基づいた指導による学習環境の形成

教授法

- 1 体験重視の実践的な学習
- 2 専門的学習／実践現場に結びつく学習
- 3 外部講師による教え(外部講師・専門家による話)

評価

- 1 欠席時対応の柔軟性
- 2 明確な評価基準

意欲への影響

- 1 他者意見による視野の拡大
- 2 職業意識・キャリア意識の向上
- 3 学習意欲の向上／興味促進／社会・時事・経済への関心喚起

④児童学科

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計(1,064 件)を分母として算出している。

1) 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	分かりやすい説明／詳しい説明	94	8.8%
2	個別の丁寧な指導／具体的なアドバイス	38	3.6%
3	教員の知識量や経験を活かした内容	25	2.3%
4	授業を飽きさせない工夫	24	2.3%
5	温かさ・誠実さを感じる人柄／教員の授業に対する熱意	22	2.1%
6	学生を尊重する／学生を対等に扱う姿勢	15	1.4%
7	適切な授業進行ペース	14	1.3%
8	聞き取りやすい話し方／適切な速さや声量	11	1.0%
9	複数の教員による多様な学び	8	0.8%
10	グループワークでの配慮が適切	2	0.2%
合計		253	23.8%

2) 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進	34	3.2%
2	動画の活用	26	2.4%
3	資料の事前公開・準備／万全な事前準備	12	1.1%
3	実践的な資料提示／身近な題材／過去の事例	12	1.1%
5	見やすいスライド（パワーポイント）・板書	8	0.8%
6	スライド・プリント・レジюмеなど資料の配布	7	0.7%
7	豊富な資料の提供	3	0.3%
合計		102	9.6%

3) 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	集中しやすい環境の維持／学習に適した雰囲気	40	3.8%
2	ICT活用によるオンライン授業・課題提出・資料配布	17	1.6%
3	規律に基づいた指導による学習環境の形成	5	0.5%
4	快適な教室の整備（視聴覚関連・教室の広さ・Wi-Fi環境・冷暖房の調整）	2	0.2%
5	個人の質問・意見を全体に共有できる環境／他者の意見を 知ることができる環境	1	0.1%
5	実技練習のための機材・環境の整備	1	0.1%
5	発言・質問しやすい環境づくり	1	0.1%
合計		67	6.4%

4) 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	体験重視の実践的な学習	164	15.4%
2	専門的学習／実践現場に結びつく学習	122	11.5%
3	外部講師による教え（外部講師・専門家による話）	62	5.8%
4	参加意欲を引き出す授業設計／見通しをもった学習	61	5.7%
5	主体的な学習活動の充実（主体的に考える時間・自由進度 学習・自主的な調査・まとめ作業）	57	5.4%
6	対話的な学習活動の充実（グループワーク・ペア活動・ 話し合い・意見交換）	48	4.5%
7	クラスでつくる表現・制作活動の充実	17	1.6%
8	振り返りの実施	16	1.5%
9	教科書・プリントに沿った授業	4	0.4%
10	発表機会の設定	3	0.3%
11	小テストや確認テストの活用	2	0.2%
11	適切な量の課題	2	0.2%
11	適切な授業レベル	2	0.2%
14	ノート作成の指示	1	0.1%
14	意見・質問へのコメント返却	1	0.1%
14	確認課題の活用	1	0.1%
14	発音・スピーキング練習の充実	1	0.1%
合計		564	53.1%

5) 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	欠席時対応の柔軟性	5	0.5%
2	明確な評価基準	3	0.3%
3	学習内容の定着を促す工夫の有効性	1	0.1%
合計		9	0.9%

6) 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
1	他者意見による視野の拡大	25	2.3%
2	職業意識・キャリア意識の向上	21	2.0%
3	学習意欲の向上／興味促進／社会・時事・経済への関心喚起	18	1.7%
4	成長の実感	4	0.4%
5	積極的・集中的な取り組み	1	0.1%
合計		69	6.5%

⑤国際文化学科

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 328 件、件数合計は 439 件となった。

カテゴリごとの上位 3 項目についてのラベルを以下に抜粋した。

要因

教示

- 1 分かりやすい説明／詳しい説明
- 2 温かさ・誠実さを感じる人柄／教員の授業に対する熱意
- 3 聞き取りやすい話し方／適切な速さや声量

教材

- 1 動画の活用
- 2 実践的な資料提示／身近な題材／過去の事例
- 3 スライド・プリント・レジュメなど資料の配布

学習環境

- 1 ICT 活用によるオンライン授業・課題提出・資料配布
- 2 集中しやすい環境の維持／学習に適した雰囲気
- 3 発言・質問しやすい環境づくり

教授法

- 1 専門的学習／実践現場に結びつく学習
- 2 対話的な学習活動の充実(グループワーク・ペア活動・話し合い・意見交換)
- 3 小テストや確認テストの活用

評価

- 1 欠席時対応の柔軟性

意欲への影響

- 1 学習意欲の向上／興味促進／社会・時事・経済への関心喚起
- 2 職業意識・キャリア意識の向上
- 3 成長の実感

⑤国際文化学科

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計(439 件)を分母として算出している。

1) 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	分かりやすい説明／詳しい説明	38	8.7%
2	温かさ・誠実さを感じる人柄／教員の授業に対する熱意	16	3.6%
3	聞き取りやすい話し方／適切な速さや声量	10	2.3%
4	授業を飽きさせない工夫	7	1.6%
5	学生を尊重する／学生を対等に扱う姿勢	5	1.1%
6	個別の丁寧な指導／具体的なアドバイス	4	0.9%
7	教員の知識量や経験を活かした内容	3	0.7%
8	予習・課題の具体的な指示	2	0.5%
9	グループワークでの配慮が適切	1	0.2%
9	適切な授業進行ペース	1	0.2%
合計		87	19.8%

2) 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	動画の活用	36	8.2%
2	実践的な資料提示／身近な題材／過去の事例	20	4.6%
3	スライド・プリント・レジュメなど資料の配布	15	3.4%
4	資料の事前公開・準備／万全な事前準備	9	2.1%
5	丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進	7	1.6%
6	見やすいスライド（パワーポイント）・板書	3	0.7%
6	豊富な資料の提供	3	0.7%
8	メモしやすい配布プリント	2	0.5%
9	板書の活用	1	0.2%
合計		96	22.0%

3) 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	ICT活用によるオンライン授業・課題提出・資料配布	20	4.6%
2	集中しやすい環境の維持／学習に適した雰囲気	16	3.6%
3	発言・質問しやすい環境づくり	7	1.6%
4	規律に基づいた指導による学習環境の形成	6	1.4%
5	個人の質問・意見を全体に共有できる環境／他者の意見を 知ることができる環境	4	0.9%
6	快適な教室の整備（視聴覚関連・教室の広さ・Wi-Fi環境・ 冷暖房の調整）	1	0.2%
合計		54	12.3%

4) 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	専門的学習／実践現場に結びつく学習	70	15.9%
2	対話的な学習活動の充実（グループワーク・ペア活動・話し合い・意見交換）	23	5.2%
3	小テストや確認テストの活用	11	2.5%
4	主体的な学習活動の充実（主体的に考える時間・自由進度学習・自主的な調査・まとめ作業）	9	2.1%
4	体験重視の実践的な学習	9	2.1%
6	発音・スピーキング練習の充実	8	1.8%
7	参加意欲を引き出す授業設計／見通しをもった学習	7	1.6%
8	発表機会の設定	6	1.4%
9	レポート・課題・宿題の実施	5	1.1%
10	教科書・プリントに沿った授業	3	0.7%
11	テスト対策支援（プレテスト・模擬試験含む）	2	0.5%
11	パソコンの活用	2	0.5%
11	英語による授業	2	0.5%
11	適切な量の課題	2	0.5%
11	練習問題・演習課題による理解促進	2	0.5%
16	意見・質問へのコメント返却	1	0.2%
16	教科書を用いない授業	1	0.2%
16	テスト回数の分割による負担軽減	1	0.2%
16	ノート作成の指示	1	0.2%
16	レスポンスシートによる理解の促進	1	0.2%
16	課題の内容が適切	1	0.2%
16	外部講師による教え（外部講師・専門家による話）	1	0.2%
16	国家試験対策と過去問活用授業	1	0.2%
16	自己理解の促進（心理テスト・内省活動を含む）	1	0.2%
16	振り返りの実施	1	0.2%
16	適切な授業レベル	1	0.2%
16	統合的・複合的思考を促す学習機会	1	0.2%
16	反転授業による学習スタイルの工夫	1	0.2%
合計		174	39.5%

5) 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	欠席時対応の柔軟性	6	1.4%
2	明確な評価基準	2	0.5%
合計		8	1.9%

6) 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
1	学習意欲の向上／興味促進／社会・時事・経済への関心喚起	13	3.0%
2	職業意識・キャリア意識の向上	3	0.7%
3	成長の実感	2	0.5%
4	積極的・集中的な取り組み	1	0.2%
4	他者意見による視野の拡大	1	0.2%
合計		20	4.6%

⑥音楽学科

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は5件、件数合計は5件となった。

カテゴリごとの上位3項目についてのラベルを以下に抜粋した。

要因

教示

- 1 授業を飽きさせない工夫
- 1 温かさ・誠実さを感じる人柄／教員の授業に対する熱意

教授法

- 1 主体的な学習活動の充実(主体的に考える時間・自由進度学習・自主的な調査・まとめ作業)
- 1 体験重視の実践的な学習

評価

- 1 欠席時対応の柔軟性

⑥音楽学科

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計(5件)を分母として算出している。

1) 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	授業を飽きさせない工夫	1	20.0%
1	温かさ・誠実さを感じる人柄／教員の授業に対する熱意	1	20.0%
合計		2	40.0%

2) 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	主体的な学習活動の充実（主体的に考える時間・自由進度学習・自主的な調査・まとめ作業）	1	20.0%
1	体験重視の実践的な学習	1	20.0%
合計		2	40.0%

3) 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	欠席時対応の柔軟性	1	20.0%
合計		1	20.0%

⑦看護学科

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 128 件、件数合計は 201 件となった。

カテゴリごとの上位 3 項目についてのラベルを以下に抜粋した。

要因

教示

- 1 分かりやすい説明／詳しい説明
- 2 個別の丁寧な指導／具体的なアドバイス
- 3 聞き取りやすい話し方／適切な速さや声量（同順位他 2 件）

教材

- 1 丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進
- 2 実践的な資料提示／身近な題材／過去の事例
- 3 動画の活用

学習環境

- 1 ICT 活用によるオンライン授業・課題提出・資料配布
- 2 発言・質問しやすい環境づくり
- 3 快適な教室の整備(視聴覚関連・教室の広さ・Wi-Fi 環境・冷暖房の調整)
(同順位他 1 件)

教授法

- 1 国家試験対策と過去問活用授業
- 2 専門的学習／実践現場に結びつく学習
- 3 対話的な学習活動の充実(グループワーク・ペア活動・話し合い・意見交換)

評価

意欲への影響

- 1 学習意欲の向上／興味促進／社会・時事・経済への関心喚起
- 2 他者意見による視野の拡大
- 3 職業意識・キャリア意識の向上

⑦看護学科

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計(201件)を分母として算出している。

1) 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	分かりやすい説明／詳しい説明	21	10.4%
2	個別の丁寧な指導／具体的なアドバイス	5	2.5%
3	聞き取りやすい話し方／適切な速さや声量	2	1.0%
3	授業を飽きさせない工夫	2	1.0%
3	教員の知識量や経験を活かした内容	2	1.0%
6	温かさ・誠実さを感じる人柄／教員の授業に対する熱意	1	0.5%
合計		33	16.4%

2) 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進	31	15.4%
2	実践的な資料提示／身近な題材／過去の事例	18	9.0%
3	動画の活用	6	3.0%
4	資料の事前公開・準備／万全な事前準備	5	2.5%
5	スライド・プリント・レジュメなど資料の配布	3	1.5%
5	見やすいスライド（パワーポイント）・板書	3	1.5%
7	書き込み式プリントの活用	1	0.5%
合計		67	33.4%

3) 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	ICT活用によるオンライン授業・課題提出・資料配布	6	3.0%
2	発言・質問しやすい環境づくり	3	1.5%
3	快適な教室の整備（視聴覚関連・教室の広さ・Wi-Fi環境・冷暖房の調整）	2	1.0%
3	集中しやすい環境の維持／学習に適した雰囲気	2	1.0%
合計		13	6.5%

4) 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	国家試験対策と過去問活用授業	19	9.5%
2	専門的学習／実践現場に結びつく学習	11	5.5%
3	対話的な学習活動の充実（グループワーク・ペア活動・話し合い・意見交換）	8	4.0%
4	意見・質問へのコメント返却	6	3.0%
4	参加意欲を引き出す授業設計／見通しをもった学習	6	3.0%
6	小テストや確認テストの活用	5	2.5%
6	振り返りの実施	5	2.5%
6	体験重視の実践的な学習	5	2.5%
9	外部講師による教え（外部講師・専門家による話）	3	1.5%
9	主体的な学習活動の充実（主体的に考える時間・自由進度学習・自主的な調査・まとめ作業）	3	1.5%
11	ノート作成の指示	1	0.5%
11	レスポンスシートによる理解の促進	1	0.5%
11	レポート・課題・宿題の実施	1	0.5%
11	教科書・プリントに沿った授業	1	0.5%
11	自己理解の促進（心理テスト・内省活動を含む）	1	0.5%
11	適切な量の課題	1	0.5%
11	統合的・複合的思考を促す学習機会	1	0.5%
合計		78	39.0%

5) 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	テストの非実施	1	0.5%
合計		1	0.5%

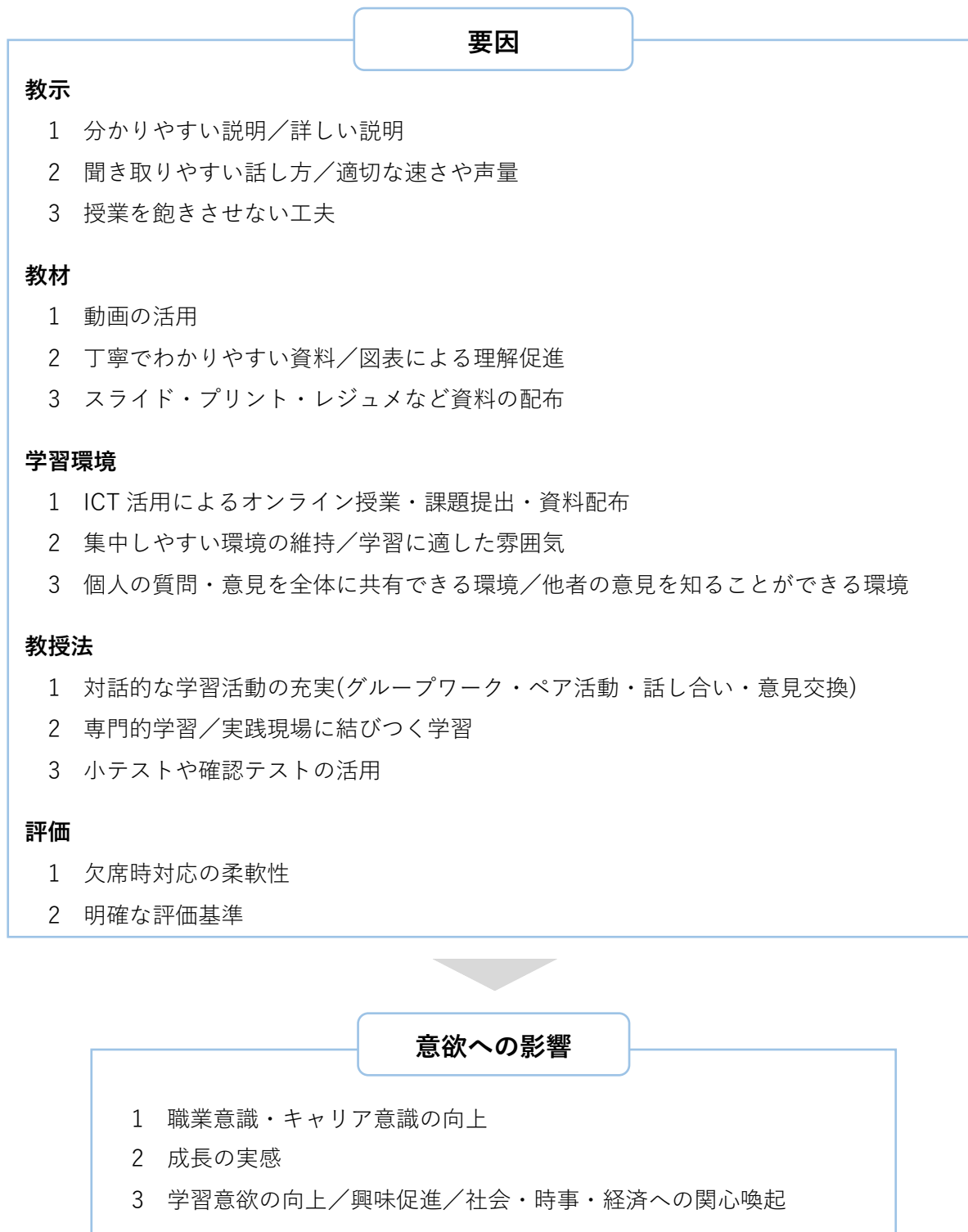
6) 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
1	学習意欲の向上／興味促進／社会・時事・経済への関心喚起	6	3.0%
2	他者意見による視野の拡大	2	1.0%
3	職業意識・キャリア意識の向上	1	0.5%
合計		9	4.5%

(4) 共通教育科目の分析結果

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 1,100 件、件数合計は 1,508 件となった。

カテゴリごとの上位 3 項目についてのラベルを以下に抜粋した。



カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計(1,508 件)を分母として算出している。

1) 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	分かりやすい説明／詳しい説明	136	9.0%
2	聞き取りやすい話し方／適切な速さや声量	54	3.6%
3	授業を飽きさせない工夫	30	2.0%
4	温かさ・誠実さを感じる人柄／教員の授業に対する熱意	27	1.8%
5	適切な授業進行ペース	24	1.6%
5	複数の教員による多様な学び	24	1.6%
7	個別の丁寧な指導／具体的なアドバイス	15	1.0%
7	学生を尊重する／学生を対等に扱う姿勢	15	1.0%
9	教員の知識量や経験を活かした内容	5	0.3%
10	予習・課題の具体的な指示	4	0.3%
11	グループワークでの配慮が適切	1	0.1%
合計		335	22.3%

2) 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	動画の活用	73	4.8%
2	丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進	60	4.0%
3	スライド・プリント・レジュメなど資料の配布	57	3.8%
4	実践的な資料提示／身近な題材／過去の事例	47	3.1%
5	資料の事前公開・準備／万全な事前準備	31	2.1%
6	見やすいスライド（パワーポイント）・板書	27	1.8%
7	書き込み式プリントの活用	15	1.0%
8	豊富な資料の提供	7	0.5%
9	字幕付きの動画の提供	6	0.4%
10	幅広い分野の学習	5	0.3%
10	板書の活用	5	0.3%
12	質問・感想・レポートなどの用紙の活用	3	0.2%
12	テキストの回答配布	3	0.2%
14	整理・保存に配慮されたプリントの仕様	2	0.1%
15	タンブラの活用	1	0.1%
合計		342	22.7%

3) 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	ICT活用によるオンライン授業・課題提出・資料配布	53	3.5%
2	集中しやすい環境の維持／学習に適した雰囲気	33	2.2%
3	個人の質問・意見を全体に共有できる環境／他者の意見を知ることができる環境	22	1.5%
4	規律に基づいた指導による学習環境の形成	13	0.9%
5	快適な教室の整備（視聴覚関連・教室の広さ・Wi-Fi環境・冷暖房の調整）	9	0.6%
6	発言・質問しやすい環境づくり	3	0.2%
合計		133	8.9%

4) 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	対話的な学習活動の充実（グループワーク・ペア活動・話し合い・意見交換）	122	8.1%
2	専門的学習／実践現場に結びつく学習	103	6.8%
3	小テストや確認テストの活用	59	3.9%
4	外部講師による教え（外部講師・専門家による話）	45	3.0%
5	参加意欲を引き出す授業設計／見通しをもった学習	39	2.6%
6	体験重視の実践的な学習	31	2.1%
7	主体的な学習活動の充実（主体的に考える時間・自由進度学習・自主的な調査・まとめ作業）	29	1.9%
8	振り返りの実施	22	1.5%
9	自己理解の促進（心理テスト・内省活動を含む）	20	1.3%
10	多様な実演・鑑賞機会の提供	19	1.3%
11	学習内容の定着を促す工夫の有効性	17	1.1%
12	発表機会の設定	13	0.9%
13	確認課題の活用	12	0.8%
13	レポート・課題・宿題の実施	12	0.8%
15	意見・質問へのコメント返却	9	0.6%
16	発音・スピーキング練習の充実	8	0.5%
17	教科書・プリントに沿った授業	6	0.4%
17	適切な授業レベル	6	0.4%
19	適切な量の課題	4	0.3%
20	練習問題・演習課題による理解促進	3	0.2%
21	レスポンスシートによる理解の促進	2	0.1%
22	課題提出期限の柔軟性	1	0.1%
22	テスト回数の分割による負担軽減	1	0.1%
22	ノート作成の指示	1	0.1%
22	パソコンの活用	1	0.1%
22	英語による授業	1	0.1%
22	外部企業による支援	1	0.1%
22	個人発表の回避	1	0.1%
22	統合的・複合的思考を促す学習機会	1	0.1%
合計		589	39.4%

5) 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	欠席時対応の柔軟性	15	1.0%
2	明確な評価基準	5	0.3%
3	テストの非実施	2	0.1%
3	質問による単位獲得方式	2	0.1%
5	発表・スピーチによる得点方式	1	0.1%
合計		25	1.6%

6) 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
1	職業意識・キャリア意識の向上	29	1.9%
2	成長の実感	23	1.5%
3	学習意欲の向上／興味促進／社会・時事・経済への関心喚起	18	1.2%
4	他者意見による視野の拡大	14	0.9%
合計		84	5.5%

（５）その他の科目の分析結果

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 311 件、件数合計は 418 件となった。

カテゴリごとの上位 3 項目についてのラベルを以下に抜粋した。

要因

教示

- 1 分かりやすい説明／詳しい説明
- 2 個別の丁寧な指導／具体的なアドバイス
- 3 聞き取りやすい話し方／適切な速さや声量（同順位他 1 件）

教材

- 1 スライド・プリント・レジュメなど資料の配布
- 2 丁寧にわかりやすい資料／図表による理解促進
- 3 動画の活用

学習環境

- 1 個人の質問・意見を全体に共有できる環境／他者の意見を知ることができる環境
- 2 集中しやすい環境の維持／学習に適した雰囲気
- 3 ICT 活用によるオンライン授業・課題提出・資料配布

教授法

- 1 体験重視の実践的な学習
- 2 対話的な学習活動の充実(グループワーク・ペア活動・話し合い・意見交換)
- 3 パソコンの活用

評価

意欲への影響

- 1 職業意識・キャリア意識の向上
- 2 他者意見による視野の拡大
- 3 学習意欲の向上／興味促進／社会・時事・経済への関心喚起

その他の科目

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計(418件)を分母として算出している。

1) 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	分かりやすい説明／詳しい説明	16	3.8%
2	個別の丁寧な指導／具体的なアドバイス	13	3.1%
3	聞き取りやすい話し方／適切な速さや声量	6	1.4%
3	温かさ・誠実さを感じる人柄／教員の授業に対する熱意	6	1.4%
5	複数の教員による多様な学び	5	1.2%
6	学生を尊重する／学生を対等に扱う姿勢	4	1.0%
7	グループワークでの配慮が適切	3	0.7%
8	教員の知識量や経験を活かした内容	1	0.2%
8	適切な授業進行ペース	1	0.2%
合計		55	13.0%

2) 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	スライド・プリント・レジюмеなど資料の配布	21	5.0%
2	丁寧でわかりやすい資料／図表による理解促進	16	3.8%
3	動画の活用	15	3.6%
4	資料の事前公開・準備／万全な事前準備	12	2.9%
5	見やすいスライド（パワーポイント）・板書	10	2.4%
6	実践的な資料提示／身近な題材／過去の事例	5	1.2%
7	書き込み式プリントの活用	2	0.5%
7	板書の活用	2	0.5%
9	質問・感想・レポートなどの用紙の活用	1	0.2%
9	メモしやすい配布プリント	1	0.2%
9	整理・保存に配慮されたプリントの仕様	1	0.2%
9	豊富な資料の提供	1	0.2%
合計		87	20.7%

3) 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	個人の質問・意見を全体に共有できる環境／他者の意見を 知ることができる環境	7	1.7%
2	集中しやすい環境の維持／学習に適した雰囲気	5	1.2%
3	ICT活用によるオンライン授業・課題提出・資料配布	4	1.0%
4	発言・質問しやすい環境づくり	3	0.7%
4	快適な教室の整備（視聴覚関連・教室の広さ・Wi-Fi環境・ 冷暖房の調整）	3	0.7%
6	教材提供形式の選択自由度	1	0.2%
合計		23	5.5%

4) 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	体験重視の実践的な学習	69	16.5%
2	対話的な学習活動の充実（グループワーク・ペア活動・ 話し合い・意見交換）	62	14.8%
3	パソコンの活用	15	3.6%
4	振り返りの実施	13	3.1%
4	専門的学習／実践現場に結びつく学習	13	3.1%
6	小テストや確認テストの活用	11	2.6%
7	参加意欲を引き出す授業設計／見通しをもった学習	8	1.9%
7	主体的な学習活動の充実（主体的に考える時間・自由進度 学習・自主的な調査・まとめ作業）	8	1.9%
9	意見・質問へのコメント返却	5	1.2%
10	教科書・プリントに沿った授業	4	1.0%
11	発表機会の設定	3	0.7%
12	自己理解の促進（心理テスト・内省活動を含む）	2	0.5%
13	課題の内容が適切	1	0.2%
13	ノート作成の指示	1	0.2%
合計		215	51.3%

5) 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	欠席時対応の柔軟性	4	1.0%
合計		4	1.0%

6) 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
1	職業意識・キャリア意識の向上	16	3.8%
2	他者意見による視野の拡大	12	2.9%
3	学習意欲の向上／興味促進／社会・時事・経済への関心喚起	4	1.0%
4	成長の実感	2	0.5%
合計		34	8.2%

(6) 「この授業で改善して欲しかった点、取り入れて欲しかった点は何ですか。」に対するアンケート結果の集計・分析方法について

- ①「この授業で改善して欲しかった点、取り入れて欲しかった点は何ですか。」に対する回答を集計・分析している。
- ②分析は在学生のみを対象としている。
- ③「専門科目」「共通教育科目」「その他の科目」ごとに分析している。また、「専門科目」については学科ごとに分析している。
- ④「特になし」(表現が異なっても趣旨が同じ回答を含む)やカテゴリの判断が不可能な回答は対象外としている。
- ⑤分析にはグラウンデッド・セオリー・アプローチの手法を用い、以下の⑥及び⑦のとおりカテゴリ・ラベル分けを行い、件数や割合を算出している。また、1件の回答に対し最多で3件のラベルを付与しているため、回答数と件数合計には差が生じている。件数は各ラベルが付与された数とし、件数合計はラベルが付与された件数の合計としている。
- ⑥カテゴリは以下の6つに分類している。
 - ・教示…教員の資質や能力による要因
 - ・教材…授業に用いた資料
 - ・学習環境…授業を行う環境
 - ・教授法…授業の進め方や内容
 - ・評価…単位に関する基準や欠席時の対応
 - ・意欲への影響…受講による意欲の変化
- ⑦ラベルとは、回答の主な内容や論点を端的に表す名称である。同様の傾向のある回答に同一のラベルを付与することで、全体の傾向を把握しやすくしている。
- ⑧割合は小数点第二位を四捨五入し小数点第一位までとしている。そのため合計値は必ずしも100%になるとは限らない。また、割合の合計は四捨五入後の割合を足し合わせた値である。

(7) 専門科目におけるカテゴリごとの学科比較

専門科目のカテゴリごとの件数の割合を各学科で比較した。

なお、割合は各学科の件数合計を分母として算出している。

	教示	教材	学習環境	教授法	評価	意欲への影響
経済	25.6%	26.4%	18.1%	21.4%	5.5%	2.6%
経営	15.4%	28.7%	22.4%	23.8%	8.4%	1.4%
社会福祉	27.6%	31.1%	15.0%	18.3%	5.9%	1.7%
児童	32.9%	11.7%	17.0%	28.5%	7.6%	1.7%
国際文化	30.8%	20.8%	18.6%	21.6%	4.6%	3.8%
音楽	57.2%	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%
看護	22.3%	41.9%	14.0%	19.6%	2.8%	0.0%

(8) 各学科の専門科目の分析結果

①経済学科

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 127 件、件数合計は 159 件となった。

カテゴリごとの上位 3 項目についてのラベルを以下に抜粋した。

要因

教示

- 1 授業進行ペース・配分の不適切さ
- 2 教員の声の特徴による学習への影響
- 3 説明の不明瞭さ・情報不足

教材

- 1 見づらいスライド(パワーポイント)・板書
- 2 教材の構成・記載内容の不備
- 3 映像教材の活用希望 (同順位他 1 件)

学習環境

- 1 ICT 活用の不十分さによるオンライン授業・課題提出・資料配布の不便さ
- 2 規律に基づいた指導の不十分さ・不徹底さ
- 3 教室設備・環境の授業適合性の不足 (同順位他 1 件)

教授法

- 1 テスト形式・持ち込み条件の不適切さ
- 2 授業内容の難解さ・専門性の高さ
- 3 一方的な授業進行 (同順位他 1 件)

評価

- 1 成績評価への不満
- 2 シラバス記載内容との相違

意欲への影響

- 1 授業への関心・参加意欲の低下
- 1 教員からの対応による心理的萎縮

①経済学科

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計(159件)を分母として算出している。

1) 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	授業進行ペース・配分の不適切さ	13	8.2%
2	教員の声の特徴による学習への影響	11	6.9%
3	説明の不明瞭さ・情報不足	6	3.8%
4	説明スピードの速さによる理解困難	2	1.3%
5	スライド切り替えの早さによる記録困難	1	0.6%
5	開講・休講対応の不満／講義日程の頻繁な変更	1	0.6%
5	教員間・単一教員内のルール不統一／教員間の連携不足	1	0.6%
5	高圧的・威圧的な教員態度	1	0.6%
5	授業の飽きさせない工夫の不足	1	0.6%
5	授業時間設定への不満	1	0.6%
5	説明内容の一方的押し付け感	1	0.6%
5	専門用語の多用による理解困難	1	0.6%
5	話題の脱線	1	0.6%
合計		41	25.6%

2) 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	見づらいスライド（パワーポイント）・板書	15	9.4%
2	教材の構成・記載内容の不備	13	8.2%
3	映像教材の活用希望	3	1.9%
3	重要箇所の明示不足	3	1.9%
5	資料の分量過多	2	1.3%
5	資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭	2	1.3%
7	教材の解答未付属／解答の不十分さ	1	0.6%
7	資料の文字数過多	1	0.6%
7	配布資料の配布時期・タイミングの不満	1	0.6%
7	板書の活用不足による情報把握困難	1	0.6%
合計		42	26.4%

3) 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	ICT活用の不十分さによるオンライン授業・課題提出・資料配布の不便さ	11	6.9%
2	規律に基づいた指導の不十分さ・不徹底さ	8	5.0%
3	教室設備・環境の授業適合性の不足	3	1.9%
3	不適切な音量設定・音響環境	3	1.9%
5	教室の広さ・視認性の不適合	1	0.6%
5	教室の温度・照明の不適切さ	1	0.6%
5	授業開始時刻の遅れ・不徹底	1	0.6%
5	授業中の過度な報告義務・行動制限	1	0.6%
合計		29	18.1%

4) 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	テスト形式・持ち込み条件の不適切さ	7	4.4%
2	授業内容の難解さ・専門性の高さ	6	3.8%
3	一方向的な授業進行	5	3.1%
3	課題提出期限の過度な厳格さ・柔軟性の欠如	5	3.1%
5	補講実施のスケジュール不明確さ	3	1.9%
6	課題の量・難しさ・見やすさへの不満	2	1.3%
6	学習内容の定着を促す工夫の不足	2	1.3%
6	授業の目的・意図の不明確さ	2	1.3%
9	発展的学習内容の不足	1	0.6%
9	課題指示の不明確さ	1	0.6%
合計		34	21.4%

5) 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	成績評価への不満	5	3.1%
2	シラバス記載内容との相違	1	0.6%
2	テストの難易度・出題範囲の不適切さ	1	0.6%
2	欠席・遅刻理由への柔軟な配慮の不足	1	0.6%
2	出席確認の不徹底	1	0.6%
合計		9	5.5%

6) 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
1	授業への関心・参加意欲の低下	2	1.3%
1	教員からの対応による心理的萎縮	2	1.3%
合計		4	2.6%

②経営学科

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 123 件、件数合計は 143 件となった。

カテゴリごとの上位 3 項目についてのラベルを以下に抜粋した。

要因

教示

- 1 教員の声の特徴による学習への影響
- 2 授業進行ペース・配分の不適切さ
- 2 説明の不明瞭さ・情報不足

教材

- 1 見づらいスライド(パワーポイント)・板書
- 2 資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭
- 3 教材の解答未付属／解答の不十分さ

学習環境

- 1 規律に基づいた指導の不十分さ・不徹底さ
- 2 ICT 活用の不十分さによるオンライン授業・課題提出・資料配布の不便さ
- 3 不適切な音量設定・音響環境

教授法

- 1 学習内容の定着を促す工夫の不足
- 2 課題提出期限の過度な厳格さ・柔軟性の欠如
- 3 テスト形式・持ち込み条件の不適切さ (同順位他 1 件)

評価

- 1 テストの難易度・出題範囲の不適切さ
- 2 テスト出題・採点条件の分かりにくさ

意欲への影響

- 1 学習集中の妨げによる意欲低下
- 1 学習成果への不信・不安感

②経営学科

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計(143 件)を分母として算出している。

1) 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	教員の声の特徴による学習への影響	7	4.9%
2	授業進行ペース・配分の不適切さ	6	4.2%
2	説明の不明瞭さ・情報不足	6	4.2%
4	説明スピードの速さによる理解困難	1	0.7%
4	専門用語の多用による理解困難	1	0.7%
4	話題の脱線	1	0.7%
合計		22	15.4%

2) 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	見づらいスライド（パワーポイント）・板書	20	14.0%
2	資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭	6	4.2%
3	教材の解答未付属／解答の不十分さ	4	2.8%
4	書き込み・穴埋め式プリント等の活用不足	2	1.4%
5	映像教材の活用希望	1	0.7%
5	教材の構成・記載内容の不備	1	0.7%
5	教材の重複・冗長感	1	0.7%
5	教材の提示方法の不備	1	0.7%
5	教材間の不一致（スライド・配布資料・教科書など）	1	0.7%
5	資料の文字数過多	1	0.7%
5	重要箇所の明示不足	1	0.7%
5	配布資料の関連情報不足	1	0.7%
5	配布資料の配布時期・タイミングの不満	1	0.7%
合計		41	28.7%

3) 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	規律に基づいた指導の不十分さ・不徹底さ	14	9.8%
2	ICT活用の不十分さによるオンライン授業・課題提出・資料配布の不便さ	5	3.5%
3	不適切な音量設定・音響環境	4	2.8%
4	教室設備・環境の授業適合性の不足	2	1.4%
4	通信環境の不備	2	1.4%
6	スキャナー設備の不足	1	0.7%
6	個人情報・プライバシー配慮の不足	1	0.7%
6	講義中の注意散漫行為	1	0.7%
6	授業開始時刻の遅れ・不徹底	1	0.7%
6	端末（パソコン）不具合・操作環境の問題	1	0.7%
合計		32	22.4%

4) 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	学習内容の定着を促す工夫の不足	7	4.9%
2	課題提出期限の過度な厳格さ・柔軟性の欠如	6	4.2%
3	テスト形式・持ち込み条件の不適切さ	4	2.8%
3	教科書活用の不足	4	2.8%
5	一方向的な授業進行	3	2.1%
6	確認テストに関する説明の不足	2	1.4%
6	実践的学習活動の不足	2	1.4%
8	テスト対策支援の不足	1	0.7%
8	英語使用による理解困難	1	0.7%
8	課題の量・難しさ・見やすさへの不満	1	0.7%
8	授業時間の短縮による内容不足	1	0.7%
8	発展的学習内容の不足	1	0.7%
8	要点の整理・内省の機会不足	1	0.7%
合計		34	23.8%

5) 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	テストの難易度・出題範囲の不適切さ	6	4.2%
2	テスト出題・採点条件の分かりにくさ	3	2.1%
3	欠席・遅刻理由への柔軟な配慮の不足	1	0.7%
3	自動採点条件の厳密さによる不満	1	0.7%
3	評価方法の偏りへの不満	1	0.7%
合計		12	8.4%

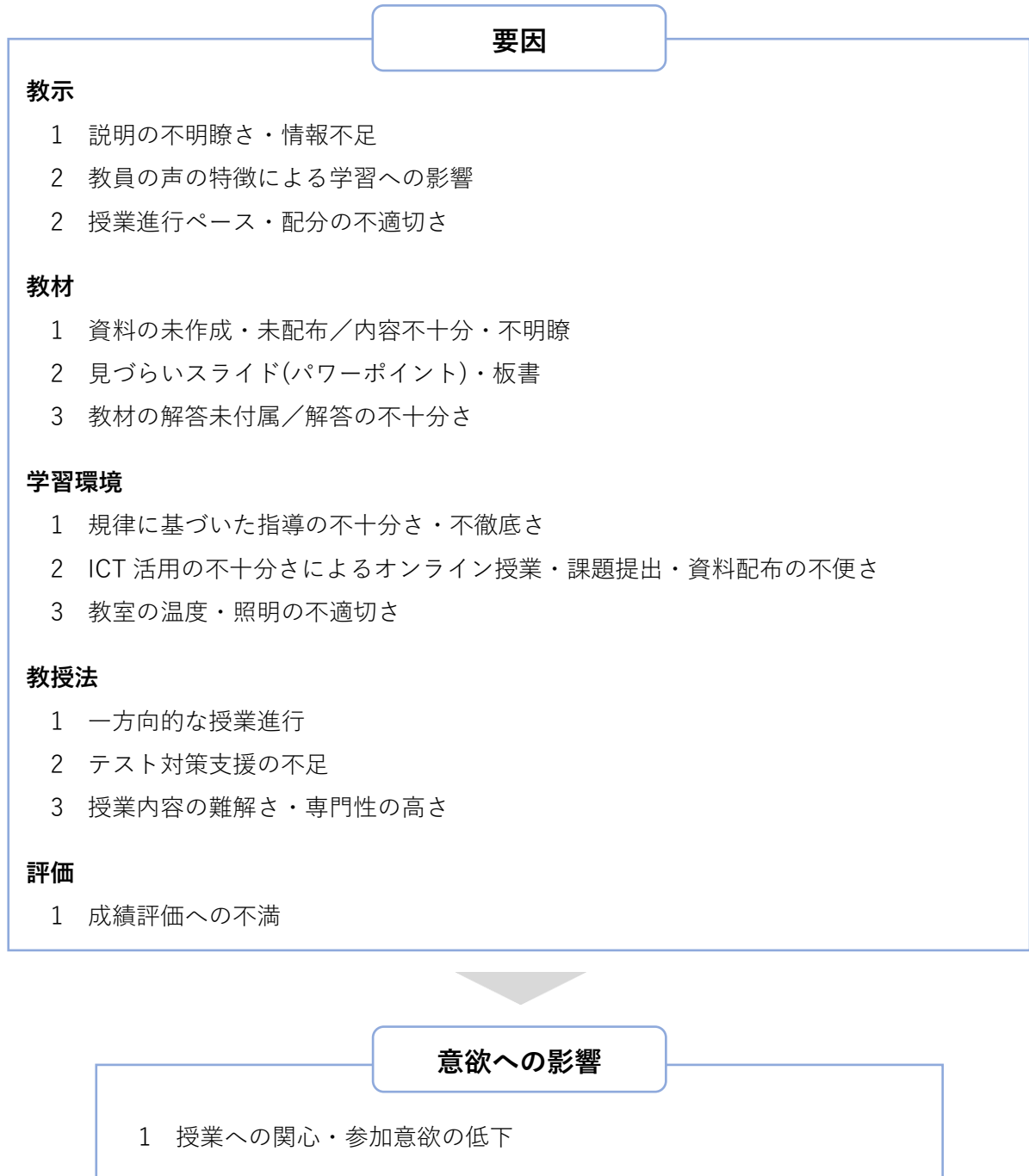
6) 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
1	学習集中の妨げによる意欲低下	1	0.7%
1	学習成果への不信・不安感	1	0.7%
合計		2	1.4%

③社会福祉学科

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 91 件、件数合計は 119 件となった。

カテゴリごとの上位 3 項目についてのラベルを以下に抜粋した。



③社会福祉学科

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計(119 件)を分母として算出している。

1) 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	説明の不明瞭さ・情報不足	13	10.9%
2	教員の声の特徴による学習への影響	4	3.4%
2	授業進行ペース・配分の不適切さ	4	3.4%
4	スライド切り替えの早さによる記録困難	3	2.5%
4	教員の対応不誠実／学生意見軽視	3	2.5%
4	説明スピードの速さによる理解困難	3	2.5%
7	高圧的・威圧的な教員態度	1	0.8%
7	専門用語の多用による理解困難	1	0.8%
7	導入部での基礎確認の不足	1	0.8%
合計		33	27.6%

2) 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭	13	10.9%
2	見づらいスライド（パワーポイント）・板書	10	8.4%
3	教材の解答未付属／解答の不十分さ	5	4.2%
4	映像教材の活用希望	4	3.4%
5	教材の構成・記載内容の不備	3	2.5%
6	重要箇所の明示不足	2	1.7%
合計		37	31.1%

3) 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	規律に基づいた指導の不十分さ・不徹底さ	7	5.9%
2	ICT活用の不十分さによるオンライン授業・課題提出・資料配布の不便さ	4	3.4%
3	教室の温度・照明の不適切さ	3	2.5%
4	記述活動における環境・形式の不備	1	0.8%
4	教室の狭さ・人数不適合	1	0.8%
4	教室の広さ・視認性の不適合	1	0.8%
4	身体的・心理的事情への配慮不足	1	0.8%
合計		18	15.0%

4) 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	一方向的な授業進行	6	5.0%
2	テスト対策支援の不足	5	4.2%
3	授業内容の難解さ・専門性の高さ	3	2.5%
4	課題指示の不明確さ	2	1.7%
4	学習内容の定着を促す工夫の不足	2	1.7%
6	課題の量・難しさ・見やすさへの不満	1	0.8%
6	課題提出期限の過度な厳格さ・柔軟性の欠如	1	0.8%
6	授業の目的・意図の不明確さ	1	0.8%
6	授業時間の短縮による内容不足	1	0.8%
合計		22	18.3%

5) 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	成績評価への不満	5	4.2%
2	欠席・遅刻理由への柔軟な配慮の不足	2	1.7%
合計		7	5.9%

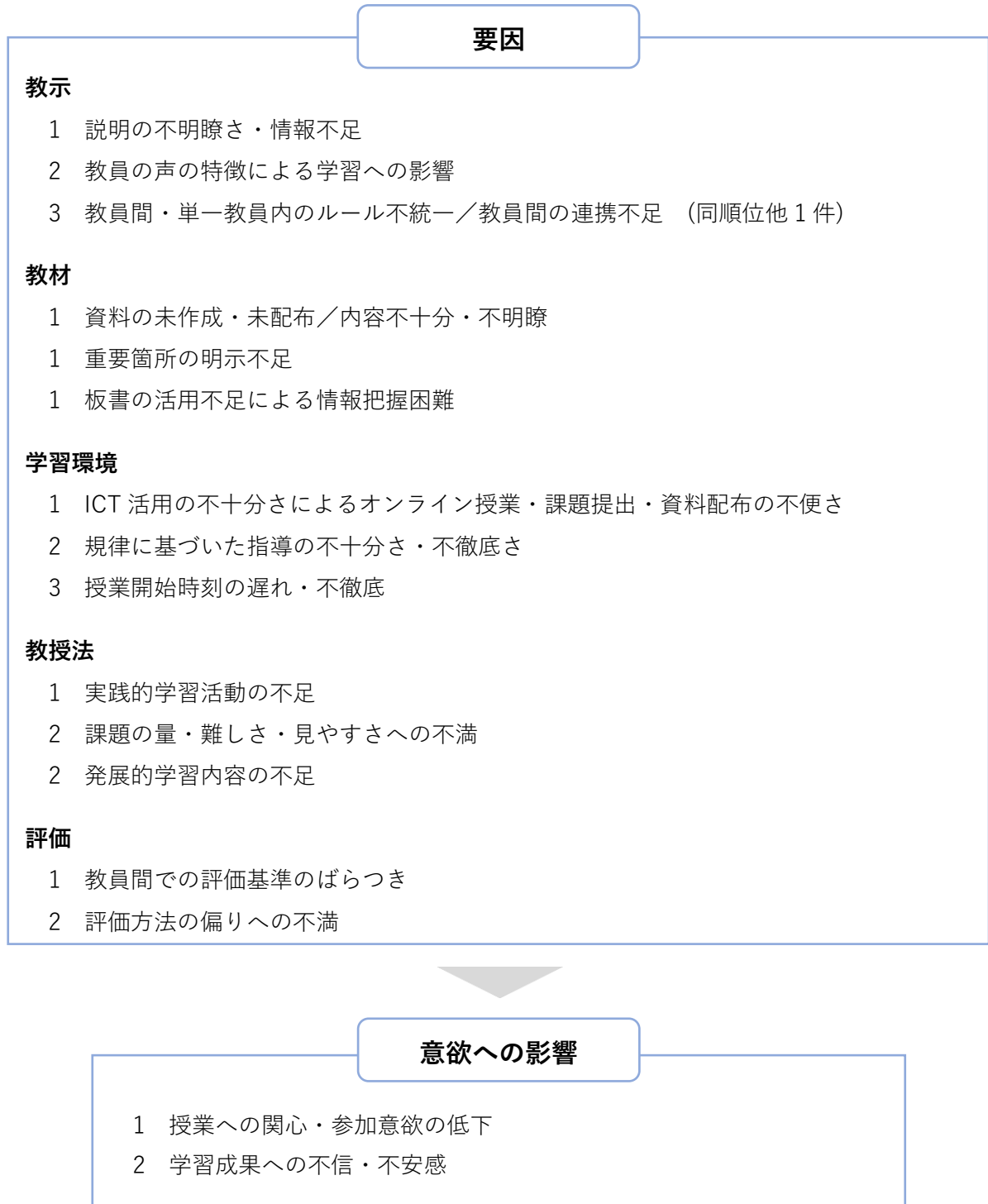
6) 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
1	授業への関心・参加意欲の低下	2	1.7%
合計		2	1.7%

④児童学科

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は193件、件数合計は236件となった。

カテゴリごとの上位3項目についてのラベルを以下に抜粋した。



④児童学科

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計(236 件)を分母として算出している。

1) 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	説明の不明瞭さ・情報不足	17	7.2%
2	教員の声の特徴による学習への影響	13	5.5%
3	教員間・単一教員内のルール不統一／教員間の連携不足	9	3.8%
3	高圧的・威圧的な教員態度	9	3.8%
5	教員の対応不誠実／学生意見軽視	7	3.0%
6	課題・試験に関する指示・日程連絡の不備	4	1.7%
6	授業進行ペース・配分の不適切さ	4	1.7%
8	説明内容の一方的押し付け感	3	1.3%
8	役割・指名の事前決定・通知の希望	3	1.3%
10	話題の脱線	2	0.8%
11	スライド切り替えの早さによる記録困難	1	0.4%
11	一人一人への対応の不足	1	0.4%
11	教員の理解不足による不安感	1	0.4%
11	授業の飽きさせない工夫の不足	1	0.4%
11	授業時間設定への不満	1	0.4%
11	冗長な板書や説明による簡略化の必要性	1	0.4%
11	説明スピードの速さによる理解困難	1	0.4%
合計		78	32.9%

2) 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭	5	2.1%
1	重要箇所の明示不足	5	2.1%
1	板書の活用不足による情報把握困難	5	2.1%
4	見づらいスライド（パワーポイント）・板書	4	1.7%
5	教材の構成・記載内容の不備	3	1.3%
6	映像教材の活用希望	2	0.8%
7	パソコン持参必須の不便さ	1	0.4%
7	資料の分量過多	1	0.4%
7	資料の文字数過多	1	0.4%
7	配布資料の配布時期・タイミングの不満	1	0.4%
合計		28	11.7%

3) 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	ICT活用の不十分さによるオンライン授業・課題提出・資料配布の不便さ	16	6.8%
2	規律に基づいた指導の不十分さ・不徹底さ	7	3.0%
3	授業開始時刻の遅れ・不徹底	4	1.7%
4	教室までの距離の不便さ	3	1.3%
4	教室設備・環境の授業適合性の不足	3	1.3%
4	座席配置の不適切さ	3	1.3%
7	教室の温度・照明の不適切さ	2	0.8%
8	通信環境の不備	1	0.4%
8	不適切な音量設定・音響環境	1	0.4%
合計		40	17.0%

4) 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	実践的学習活動の不足	16	6.8%
2	課題の量・難しさ・見やすさへの不満	8	3.4%
2	発展的学習内容の不足	8	3.4%
4	一方向的な授業進行	6	2.5%
5	活動成果に対する正解・期待像の不明確さ	5	2.1%
6	グループ活動のメンバー構成・負担不均衡	4	1.7%
6	一律な指導への不満	4	1.7%
6	課題提出期限の過度な厳格さ・柔軟性の欠如	4	1.7%
9	学習活動における個人作業選択の自由度不足	2	0.8%
9	学習内容の定着を促す工夫の不足	2	0.8%
9	自己進捗学習の負担感	2	0.8%
9	授業の目的・意図の不明確さ	2	0.8%
13	テスト対策支援の不足	1	0.4%
13	教材の内容実施不足	1	0.4%
13	主体的に考える機会・活動の不足	1	0.4%
13	反転授業の運用上の課題	1	0.4%
13	比較の機会不足	1	0.4%
合計		68	28.5%

5) 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	教員間での評価基準のばらつき	5	2.1%
2	評価方法の偏りへの不満	4	1.7%
3	シラバス記載内容との相違	3	1.3%
3	出席確認方法の不備	3	1.3%
5	欠席・遅刻理由への柔軟な配慮の不足	1	0.4%
5	成績評価への不満	1	0.4%
5	評価基準の不明確さ	1	0.4%
合計		18	7.6%

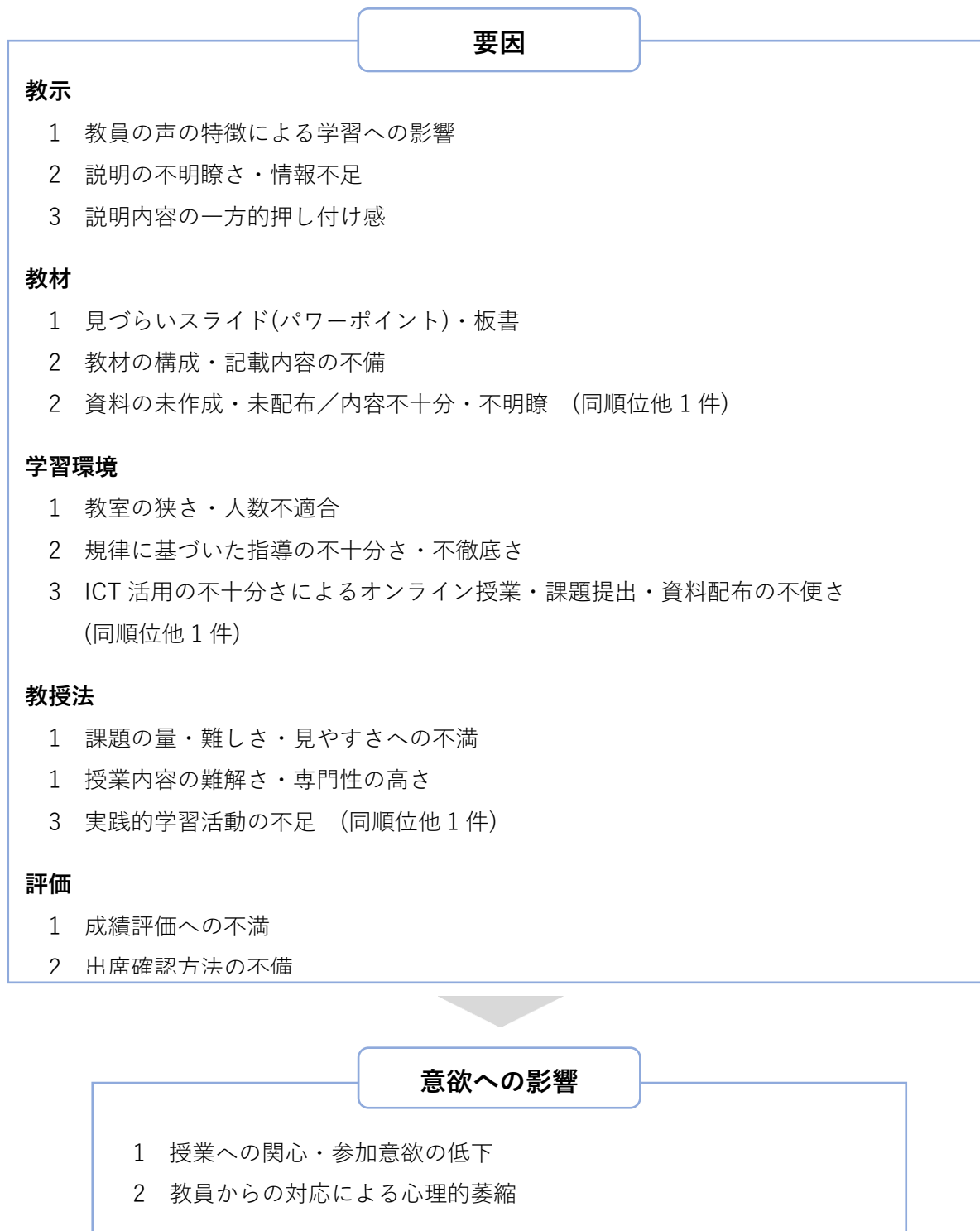
6) 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
1	授業への関心・参加意欲の低下	3	1.3%
2	学習成果への不信・不安感	1	0.4%
合計		4	1.7%

⑤国際文化学科

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 115 件、件数合計は 130 件となった。

カテゴリごとの上位 3 項目についてのラベルを以下に抜粋した。



⑤国際文化学科

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計(130 件)を分母として算出している。

1) 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	教員の声の特徴による学習への影響	8	6.2%
2	説明の不明瞭さ・情報不足	6	4.6%
3	説明内容の一方的押し付け感	4	3.1%
4	一人一人への対応の不足	3	2.3%
4	教員の対応不誠実／学生意見軽視	3	2.3%
4	話題の脱線	3	2.3%
7	課題・試験に関する指示・日程連絡の不備	2	1.5%
7	開講・休講対応の不満／講義日程の頻繁な変更	2	1.5%
7	授業進行ペース・配分の不適切さ	2	1.5%
7	役割・指名の事前決定・通知の希望	2	1.5%
11	スライド切り替えの早さによる記録困難	1	0.8%
11	高圧的・威圧的な教員態度	1	0.8%
11	授業開始・切り替えの不明瞭さ	1	0.8%
11	冗長な板書や説明による簡略化の必要性	1	0.8%
11	説明スピードの速さによる理解困難	1	0.8%
合計		40	30.8%

2) 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	見づらいスライド（パワーポイント）・板書	11	8.5%
2	教材の構成・記載内容の不備	3	2.3%
2	資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭	3	2.3%
2	重要箇所の明示不足	3	2.3%
5	映像教材の活用希望	2	1.5%
5	映像教材の内容・提示方法への不満	2	1.5%
7	授業内容と振り返り課題の不一致	1	0.8%
7	書き込み・穴埋め式プリント等の活用不足	1	0.8%
7	板書の活用不足による情報把握困難	1	0.8%
合計		27	20.8%

3) 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	教室の狭さ・人数不適合	8	6.2%
2	規律に基づいた指導の不十分さ・不徹底さ	5	3.8%
3	ICT活用の不十分さによるオンライン授業・課題提出・資料配布の不便さ	3	2.3%
3	講義中の注意散漫行為	3	2.3%
5	教室の温度・照明の不適切さ	1	0.8%
5	教室の広さ・視認性の不適合	1	0.8%
5	個人質問・意見の全体共有環境の不足	1	0.8%
5	座席配置の不適切さ	1	0.8%
5	身体的・心理的事情への配慮不足	1	0.8%
合計		24	18.6%

4) 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	課題の量・難しさ・見やすさへの不満	5	3.8%
1	授業内容の難解さ・専門性の高さ	5	3.8%
3	実践的学習活動の不足	4	3.1%
3	発展的学習内容の不足	4	3.1%
5	主体的に考える機会・活動の不足	3	2.3%
6	課題提出期限の過度な厳格さ・柔軟性の欠如	2	1.5%
7	グループ活動のメンバー構成・負担不均衡	1	0.8%
7	一方向的な授業進行	1	0.8%
7	一律な指導への不満	1	0.8%
7	教科書活用の不足	1	0.8%
7	反転授業の運用上の課題	1	0.8%
合計		28	21.6%

5) 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	成績評価への不満	3	2.3%
2	出席確認方法の不備	2	1.5%
3	欠席・遅刻理由への柔軟な配慮の不足	1	0.8%
合計		6	4.6%

6) 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
1	授業への関心・参加意欲の低下	3	2.3%
2	教員からの対応による心理的萎縮	2	1.5%
合計		5	3.8%

⑥音楽学科

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は7件、件数合計は7件となった。

カテゴリごとの上位3項目についてのラベルを以下に抜粋した。

要因

教示

- 1 開講・休講対応の不満／講義日程の頻繁な変更
- 2 教員の声の特徴による学習への影響
- 2 高圧的・威圧的な教員態度

教材

- 1 資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭

教授法

- 1 テスト実施時期の希望
- 1 課題の量・難しさ・見やすさへの不満

⑥音楽学科

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計(7件)を分母として算出している。

7) 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	開講・休講対応の不満／講義日程の頻繁な変更	2	28.6%
2	教員の声の特徴による学習への影響	1	14.3%
2	高圧的・威圧的な教員態度	1	14.3%
合計		4	57.2%

8) 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭	1	14.3%
合計		1	14.3%

9) 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	テスト実施時期の希望	1	14.3%
1	課題の量・難しさ・見やすさへの不満	1	14.3%
合計		2	28.6%

⑦看護学科

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 33 件、件数合計は 36 件となった。

カテゴリごとの上位 3 項目についてのラベルを以下に抜粋した。

要因

教示

- 1 教員の声の特徴による学習への影響
- 2 説明の不明瞭さ・情報不足
- 3 授業進行ペース・配分の不適切さ（同順位他 1 件）

教材

- 1 重要箇所の明示不足
- 2 資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭
- 2 配布資料の配布時期・タイミングの不満

学習環境

- 1 ICT 活用の不十分さによるオンライン授業・課題提出・資料配布の不便さ
- 1 アンケート量の過多による負担感
- 1 教室の快適性向上の要望（同順位他 2 件）

教授法

- 1 グループ活動のメンバー構成・負担不均衡
- 1 課題提出期限の過度な厳格さ・柔軟性の欠如
- 3 テスト対策支援の不足（同順位他 2 件）

評価

⑦看護学科

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計(36 件)を分母として算出している。

1) 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	教員の声の特徴による学習への影響	4	11.1%
2	説明の不明瞭さ・情報不足	2	5.6%
3	授業進行ペース・配分の不適切さ	1	2.8%
3	説明スピードの速さによる理解困難	1	2.8%
合計		8	22.3%

2) 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	重要箇所の明示不足	3	8.3%
2	資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭	2	5.6%
2	配布資料の配布時期・タイミングの不満	2	5.6%
4	教材の解答未付属／解答の不十分さ	1	2.8%
4	教材の構成・記載内容の不備	1	2.8%
4	教材間の不一致（スライド・配布資料・教科書など）	1	2.8%
4	見づらいスライド（パワーポイント）・板書	1	2.8%
4	国試・練習問題プリントの提供不足	1	2.8%
4	資料の分量過多	1	2.8%
4	資料の文字数過多	1	2.8%
4	書き込み・穴埋め式プリント等の活用不足	1	2.8%
合計		15	41.9%

3) 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	ICT活用の不十分さによるオンライン授業・課題提出・資料配布の不便さ	1	2.8%
1	アンケート量の過多による負担感	1	2.8%
1	教室の快適性向上の要望	1	2.8%
1	個人情報・プライバシー配慮の不足	1	2.8%
1	不適切な音量設定・音響環境	1	2.8%
合計		5	14.0%

4) 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	グループ活動のメンバー構成・負担不均衡	2	5.6%
1	課題提出期限の過度な厳格さ・柔軟性の欠如	2	5.6%
3	テスト対策支援の不足	1	2.8%
3	一方向的な授業進行	1	2.8%
3	活動成果に対する正解・期待像の不明確さ	1	2.8%
合計		7	19.6%

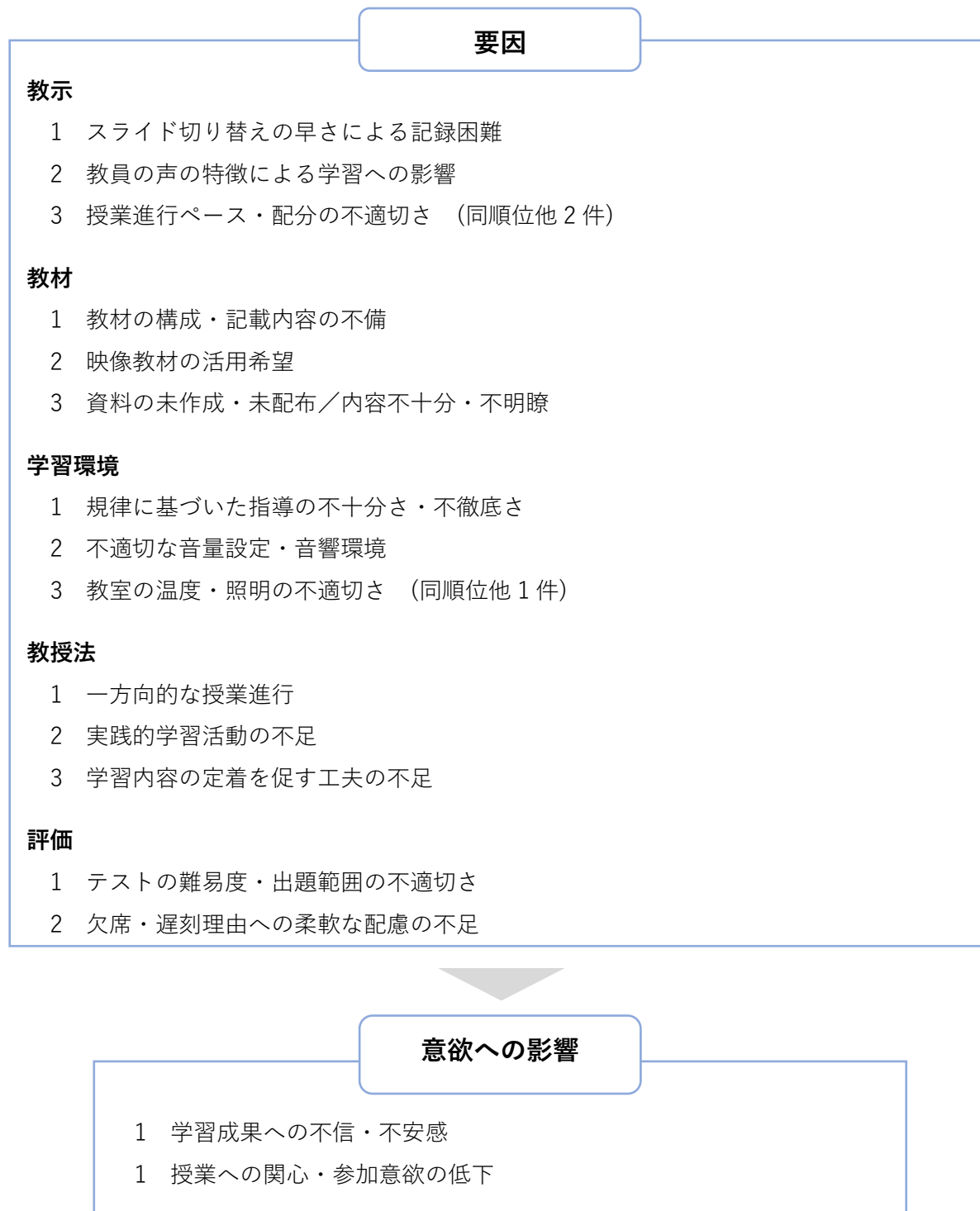
5) 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	教員間での評価基準のばらつき	1	2.8%
合計		1	2.8%

（９）共通教育科目の分析結果

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 322 件、件数合計は 365 件となった。

カテゴリごとの上位 3 項目についてのラベルを以下に抜粋した。



カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計(365 件)を分母として算出している。

1) 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	スライド切り替えの早さによる記録困難	24	6.6%
2	教員の声の特徴による学習への影響	17	4.7%
3	授業進行ペース・配分の不適切さ	11	3.0%
3	説明スピードの速さによる理解困難	11	3.0%
3	説明の不明瞭さ・情報不足	11	3.0%
6	高圧的・威圧的な教員態度	5	1.4%
7	教員間・単一教員内のルール不統一／教員間の連携不足	4	1.1%
7	専門用語の多用による理解困難	4	1.1%
9	役割・指名の事前決定・通知の希望	3	0.8%
9	話題の脱線	3	0.8%
11	課題・試験に関する指示・日程連絡の不備	2	0.5%
11	導入部での基礎確認の不足	2	0.5%
13	開講・休講対応の不満／講義日程の頻繁な変更	1	0.3%
13	冗長な板書や説明による簡略化の必要性	1	0.3%
13	多発する聞き間違い	1	0.3%
合計		100	27.4%

2) 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	教材の構成・記載内容の不備	17	4.7%
2	映像教材の活用希望	15	4.1%
3	資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭	12	3.3%
4	見づらいスライド（パワーポイント）・板書	5	1.4%
5	パソコン持参必須の不便さ	4	1.1%
5	教材の解答未付属／解答の不十分さ	4	1.1%
7	教材間の不一致（スライド・配布資料・教科書など）	3	0.8%
8	映像教材の内容・提示方法への不満	2	0.5%
8	資料の文字数過多	2	0.5%
8	資料印刷の学生負担	2	0.5%
8	配布資料の関連情報不足	2	0.5%
8	配布資料の配布時期・タイミングの不満	2	0.5%
13	書き込み・穴埋め式プリント等の活用不足	1	0.3%
合計		71	19.3%

3) 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	規律に基づいた指導の不十分さ・不徹底さ	15	4.1%
2	不適切な音量設定・音響環境	14	3.8%
3	教室の温度・照明の不適切さ	10	2.7%
3	教室の狭さ・人数不適合	10	2.7%
5	ICT活用の不十分さによるオンライン授業・課題提出・資料配布の不便さ	9	2.5%
6	ICT依存による学習不便感	3	0.8%
6	遅刻時の入室・理由申告対応への不満	3	0.8%
8	教室変更の周知不足	2	0.5%
8	講義中の注意散漫行為	2	0.5%
8	通信環境の不備	2	0.5%
11	スキャナー設備の不足	1	0.3%
11	教室の広さ・視認性の不適合	1	0.3%
11	教室までの距離の不便さ	1	0.3%
11	個人質問・意見の全体共有環境の不足	1	0.3%
合計		74	20.1%

4) 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	一方向的な授業進行	15	4.1%
2	実践的学習活動の不足	11	3.0%
3	学習内容の定着を促す工夫の不足	10	2.7%
4	英語使用による理解困難	9	2.5%
4	課題の量・難しさ・見やすさへの不満	9	2.5%
4	発展的学習内容の不足	9	2.5%
7	授業内容の難解さ・専門性の高さ	7	1.9%
8	課題提出期限の過度な厳格さ・柔軟性の欠如	3	0.8%
8	補講実施のスケジュール不明確さ	3	0.8%
10	授業の目的・意図の不明確さ	2	0.5%
11	英会話教材内容の偏り	1	0.3%
11	課題指示の不明確さ	1	0.3%
11	教科書活用の不足	1	0.3%
11	要点の整理・内省の機会不足	1	0.3%
合計		82	22.5%

5) 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	テストの難易度・出題範囲の不適切さ	12	3.3%
2	欠席・遅刻理由への柔軟な配慮の不足	5	1.4%
2	成績評価への不満	5	1.4%
4	出席確認方法の不備	3	0.8%
5	シラバス記載内容との相違	2	0.5%
5	評価基準の不明確さ	2	0.5%
7	出席確認の不徹底	1	0.3%
合計		30	8.2%

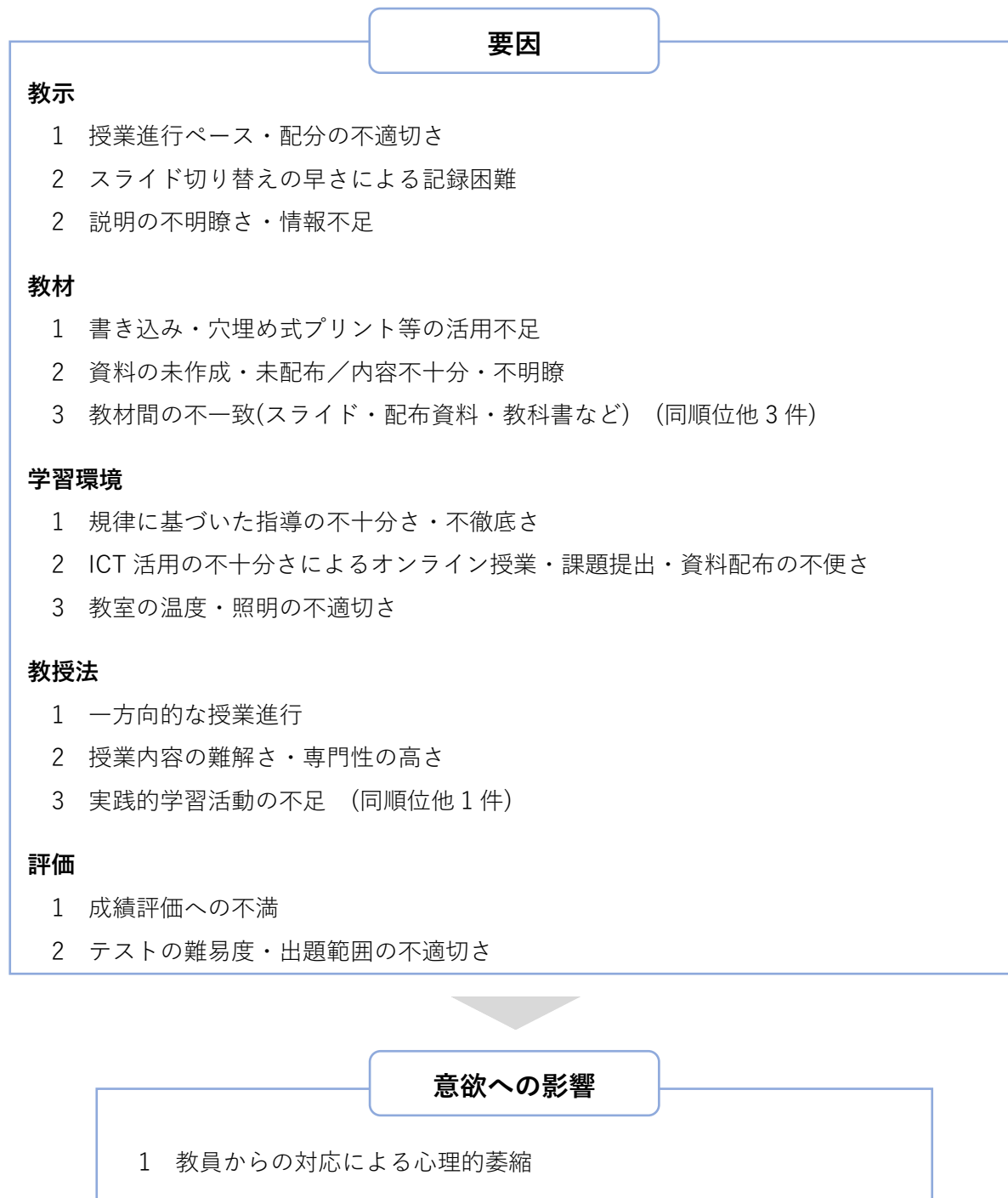
6) 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
1	学習成果への不信・不安感	4	1.1%
1	授業への関心・参加意欲の低下	4	1.1%
合計		8	2.2%

(10) その他の科目の分析結果

自由記述回答を内容の類似性と出現頻度に基づき集計した結果、回答数は 98 件、件数合計は 105 件となった。

カテゴリごとの上位 3 項目についてのラベルを以下に抜粋した。



その他の科目

カテゴリごとの件数と割合は以下のとおり。

なお、割合は件数合計(105 件)を分母として算出している。

1) 教示

順位	ラベル	件数	割合
1	授業進行ペース・配分の不適切さ	7	6.7%
2	スライド切り替えの早さによる記録困難	6	5.7%
2	説明の不明瞭さ・情報不足	6	5.7%
4	開講・休講対応の不満／講義日程の頻繁な変更	4	3.8%
5	教員の声の特徴による学習への影響	3	2.9%
5	説明スピードの速さによる理解困難	3	2.9%
7	冗長な板書や説明による簡略化の必要性	1	1.0%
合計		30	28.7%

2) 教材

順位	ラベル	件数	割合
1	書き込み・穴埋め式プリント等の活用不足	4	3.8%
2	資料の未作成・未配布／内容不十分・不明瞭	3	2.9%
3	教材間の不一致（スライド・配布資料・教科書など）	2	1.9%
3	資料の分量過多	2	1.9%
3	資料の文字数過多	2	1.9%
3	重要箇所の明示不足	2	1.9%
7	教材の構成・記載内容の不備	1	1.0%
合計		16	15.3%

3) 学習環境

順位	ラベル	件数	割合
1	規律に基づいた指導の不十分さ・不徹底さ	6	5.7%
2	ICT活用の不十分さによるオンライン授業・課題提出・資料配布の不便さ	4	3.8%
3	教室の温度・照明の不適切さ	3	2.9%
4	教室の広さ・視認性の不適合	2	1.9%
4	教室設備・環境の授業適合性の不足	2	1.9%
6	教室の快適性向上の要望	1	1.0%
6	教室の狭さ・人数不適合	1	1.0%
6	講義中の注意散漫行為	1	1.0%
6	不適切な音量設定・音響環境	1	1.0%
合計		21	20.2%

4) 教授法

順位	ラベル	件数	割合
1	一方向的な授業進行	11	10.5%
2	授業内容の難解さ・専門性の高さ	6	5.7%
3	実践的学習活動の不足	4	3.8%
3	要点の整理・内省の機会不足	4	3.8%
5	課題指示の不明確さ	2	1.9%
6	グループ活動のメンバー構成・負担不均衡	1	1.0%
6	課題の量・難しさ・見やすさへの不満	1	1.0%
6	教材の内容実施不足	1	1.0%
6	授業の目的・意図の不明確さ	1	1.0%
合計		31	29.7%

5) 評価

順位	ラベル	件数	割合
1	成績評価への不満	3	2.9%
2	テストの難易度・出題範囲の不適切さ	2	1.9%
3	テスト形式・持ち込み条件の不適切さ	1	1.0%
合計		6	5.8%

6) 意欲への影響

順位	ラベル	件数	割合
1	教員からの対応による心理的萎縮	1	1.0%
合計		1	1.0%